「新型コロナウイルス感染症」シニアのくらしアンケート

報　告　書

令和３（2021）年１月 28 日

社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会
地域福祉課　生活支援係
生活支援コーディネーター

はじめに

昨年４月に発出された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言のもと、まちは静まり返り、私たち生活支援コーディネーター*1も地域のシニアの皆さまが共に支え合う地域づくりを推進するための地域活動が大きく制限されました。鎌倉市内のシニアの方々と直接お会いすることもままならず、もどかしさを募らせておりましたが、自粛生活の中で感染症におびえながら、どのように感じ、くらしていらっしゃるかを少しでも知ろうと、アンケート調査を企画し、昨年９月下旬から 10 月下旬にかけて多数の機関・団体の協力を得て、市内在住の 60 歳以上の方を対象にアンケートを実施いたしました。

人と人との直接の関係が制限されるこのコロナ禍という未曽有の状況下で、いかにしてだれもが生きがいをもち、ともに支え合い、心ふれあう地域づくりを進めていくかを考えることは大きな困難を伴います。第２波、第３波と感染症拡大が続くなかで、わたしたちは、有効なワクチンや特効薬の開発を待つしかないのが実情ではありますが、もしかしたら、今回のアンケート結果を分析することで、地域のシニアの皆さまが少しでも生きがいをもち、ともに支え合い、心ふれあうための糸口を見つけられるのではないかと思い、このアンケート結果をまとめました。

アンケートの実施期間は１か月余りと短期間ではありましたが、603 名の方から貴重な回答を得ることができました。アンケートにご回答いただいた多くの方々、ご協力いただいた地域包括支援センター・老人福祉センターなど、多数の機関・団体の関係者の方に心からお礼申し上げます。

この報告書が、地域の皆さまがこのような状況においても、だれもが住みなれたまちで元気にくらし続ける、ともに支え合う地域づくりを考えていくための一助になれば、この上なく光栄です。

令和３年１月

＊1）生活支援コーディネーターは、社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会が鎌倉市から鎌倉市生活支援体制整備事業を受託し、介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業を地域で推進するために市内の５つの日常生活圏域(鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄)に配置された専門職です。

目次

はじめに

Ⅰ　アンケート概要.....**1**

Ⅱ　アンケート属性の分析.....**5**

Ⅲ　アンケート回答の集計と分析.....**8**

【問 1】　春の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下の自粛生活で不自由を感じましたか？.....8

【問 2】　新型コロナウイルスの感染拡大が続く今、あなたのくらしで困りごとはありますか？..... 10

集計表 14

【問 3】　人との密を避け、接触の機会を減らす中で、特に取り組まれていることはありますか？. 15

集計表 21

【問 4】　コロナ禍の収束が見えない中で、これからのくらしで不安に感じることはありますか？. 22

集計表 30

【問 5】 コロナ禍が終息したら何をされたいですか？

または、今、我慢していることがあれば教えてください。..... 31

【問 6】　現在、密を避けた人との関わりが求められています。 コロナ禍前とは異なるくらしの中で、

あなたは人との関わり方にもどかしさを感じますか？..... 32

【問 7】　新しい生活様式の中で、お住まいの地域の人と関わる活動に参加してみたいですか？..... 35

【問 8】 このコロナ禍で感じたこと考えたことを自由にお書きください。..... 42

まとめ（あとがきにかえて）.....**43**

記 述 文 集.....**45**

【問 4 】 47

【問 5 】 49

【問 8 】 56

Ⅰ　アンケート概要

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに伴う様々な行動抑制や自粛要請が高齢者の生活に及ぼした影響を把握し、新型コロナウイルスの感染拡大状況が続く中でも、高齢者が主体的に参加できる地域福祉活動を検討することを目的としました。

基本仮説

- 新型コロナウイルス感染症の生理学的な病状への恐怖だけではなく、感染症拡大防止のための様々な社会的な規制が高齢者の日常の対人関係に深刻な影響を及ぼしている。
- 感染症予防対策のため、密な対人関係を制限された地域の高齢者は対人関係に「もどかしさ」を感じ、高齢者福祉活動に参加したいと思っている。

作業仮説

① 新型コロナ感染症の拡大は、高齢者の人とのつながりに深刻な影響を及ぼし、日常の暮らしが阻害され、「不自由」や「困りごと」を感じた。
② 高齢者は、この阻害に対処するため、人とのつながり方に工夫する、一人での過ごし方を工夫するなど、様々な対処法をとった。
③ コロナ禍の収束が見通せない現状では、対処療法的なやり方だけではもはや十分ではなく、高齢者は不安を感じるとともに、精神的な抑圧が鬱積されつつある。
④ 高齢者の不安や精神的に鬱積された抑圧（欲求不満）の大きな要因として親密な対人関係に対する阻害があり、高齢者は密な人との関わりが阻害されたことに対して「もどかしさ」を感じている。
⑤ この「もどかしい」という葛藤の感覚は、高齢者が主体的に地域活動に参加する動機となり得る。
⑥ コロナ禍前とは異なるくらしの中で「もどかしさ」を感じる高齢者が関心を寄せる地域活動は、鎌倉市や鎌倉市社会福祉協議会が助成・支援・協力しようとする地域福祉活動に結びつく可能性がある。

2. アンケート票（p.3、p.4 参照）

3. アンケート対象者

鎌倉市内に居住する 60 歳以上の方としました。

※　介護保険法上「高齢者」は 65 歳以上とされています。今回のアンケートは 60 歳以上を対象としており対象者に 60 歳から 64 歳を含む場合は、「高齢者」ではなく「シ

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

ニア」と表現しました。(なお、文中では尊敬語である「方々」「方」を省かせていただきました。)

4. 実施時期： 令和 2(2020)年 9 月中旬～10 月下旬

5. 実施場所
   - 鎌倉市の 5 つの行政区： 鎌倉地域、腰越地域、深沢地域、大船地域、玉縄地域
   - 上記の 5 つの日常生活圏域に配置された生活支援コーディネーターがそれぞれの担当地域でアンケートを実施しました。
   - アンケート票を配布した対象者
     - 老人福祉センターの利用者
     - サークル・サロンの利用者
     - 地域包括支援センターの利用者
     - 民生委員児童委員の見守り対象者
     - 個人・その他

   - アンケート票を設置した場所
     - 市役所・支所の窓口
     - 某マンション群の掲示板（自治会協力）

6. 調査方法
   - 標本調査（非確率抽出・機縁法*2）
     本調査は、新型コロナウイルス感染症が拡大する状況下で、短期間にできるだけ多くの方の回答を集めるために機縁法*を採用しました。
     ＊2)機縁法： 調査を行う人が友人や知人などの紹介によって調査対象者を選ぶ方法。
   - 自計式*3/他計式*4
     アンケートの回答記入は原則的には自計式としましたが、地域包括支援センターなどでは回答者が自分で回答を記入することが難しいケースもあり、回答者の状況に応じて他計式で対応しました。
     ＊3)自計式： 対象者が自分でアンケートに回答を記入する方法。
     ＊4)他計式： 調査者が対象者の回答を聴き、アンケートに記入する方法。

7. アンケート回答率
   - 配 布 数： 753 票
   - 回答票数： 603 票
   - 回 収 率： 80.1%

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

「新型コロナウイルス（COVID－19）感染症」シニアのくらしアンケート

秋涼の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。
さて、春先からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、私たちのくらしも大きな影響を受けました。
これからの「地域福祉活動のあり方」を考えていくために、シニアの皆様のお気持ちを教えてください。

どうぞよろしくお願いします！

【はじめに】あなたの性別、年齢、お住いの地域を教えてください。
（あてはまるものを○で囲んでください。）

○性別：　男　・　女
○年齢：　60代　・　70代　・　80代　・　90代以上
○地域：　鎌倉　・　腰越　・　深沢　・　大船　・　玉縄　（鎌倉市５つの行政区）

【問１】　春の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下の自粛生活で不自由を感じましたか？
（いずれかを○で囲んでください。）　a. 感じた　b. 感じなかった

【問２】　新型コロナウイルスの感染拡大が続く今、あなたのくらしで困りごとはありますか？
（いずれかを○で囲んでください。）　a. ある　b. ない

「ある」とお答えの方♀それは、どのようなことですか？
次の①～④の中の該当する項目を○で囲んでください。（複数回答可）

【外出関連】① 買物・通院・銀行・理美容院・娯楽・冠婚葬祭・ほか
【対人関連】② 会話・会議会合・会食宴会・近所づきあい・サークル活動・ほか
【趣味関連】③ 芸術鑑賞・カラオケ・運動・旅行・習い事・囲碁将棋麻雀・ほか
【家族関連】④ 家族の介護・離れて暮らす家族との交流・在宅勤務・ほか
【そ の 他】⑤ ＜記述＞（　　）

【問３】　人との密を避け、接触の機会を減らす中で、特に取り組まれていることはありますか？
（いずれかを○で囲んでください。）　a. ある　b. ない

「ある」とお答えの方♀それは、どのようなことですか？
次の①～④の中の該当する項目を○で囲んでください。（複数回答可）

【健康関連】① 体操・散歩・マッサージ・栄養管理・認知症ドリル・ほか
【対人関連】② 電話・Ｅメール・SNS・ビデオ通話・手紙・交換日記・ほか
【余暇関連】③ 読書・手芸・園芸・音楽・DIY・お菓子作り・ゲーム・ほか
【家庭関連】④ 家の掃除・庭の手入れ・新しい料理・終活・防災備蓄・ほか
【そ の 他】⑤ ＜記述＞（　　）

裏面にお進みください ⇨

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問４】 コロナ禍の収束が見えない中で、これからのくらしで不安に感じることはありますか？

（いずれかを〇で囲んでください。） a. ある b. ない

「ある」とお答えの方♀それは、どのようなことですか？
次の①～④の中の該当する項目を〇で囲んでください。（複数回答可）

【健康関連】① コロナ感染・持病・物忘れ・うつ・飲酒量増・運動不足・ほか

【対人関連】② ３密を避けること・人づきあいの減少・親しい人との別離・ほか

【経済関連】③ 収入減・失業・休廃業・家計費増・ローン返済・資金借入・ほか

【社会関連】④ コロナ蔓延・自然災害・治安・偏見と差別・国内外の紛争・ほか

【そ の 他】⑤ ＜記述＞（　　）

「ない」とお答えの方♀その理由をお聞かせください。＜記述＞
（　　）

【問５】 コロナ禍が終息したら何をされたいですか？
または、今、我慢していることがあれば教えてください。＜記述＞
（　　）

【問６】 現在、密を避けた人との関わりが求められています。コロナ禍前とは異なるくらしの中で、あなたは人との関わり方にもどかしさを感じますか？（一つお選びください）

a. 大いに感じる ・ b. 少し感じる ・ c. あまり感じない ・ d. 全く感じない

【問７】 【問６】で「大いに感じる」「少し感じる」「あまり感じない」とお答えの方♀
新しい生活様式の中で、お住まいの地域の人と関わる活動に参加してみたいですか？

（いずれかを〇で囲んでください。） a. はい b. いいえ

「はい」とお答えの方♀次の活動で関心のあるものはありますか？（複数回答可）

自治町内会活動・近所の団らん・サークル活動・老人クラブ・サロン活動・子育て支援・ボランティア活動・寄付募金活動・イベント（　　）・ほか（　　）

※ イベントの例：まつり、バザーなど

「いいえ」とお答えの方♀その理由をお聞かせください。（一つお選びください）

a. お住まいの地域以外で活動 ・ b. 感染症のリスク ・ c. その他（　　）

【問８】 このコロナ禍で感じたこと考えたことを自由にお書きください。

（　　）

ご協力ありがとうございました。

社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会
地域福祉課　生活支援係
TEL：23—1075　FAX：22—2213

□C　□H　□S　□P　□R

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

Ⅱ　アンケート属性の分析

1.　男女構成

鎌倉市全域の回答者の男女比は、男性 31.3%（189 票）、女性 64.8%(391 票)（グラフ 1）となり、女性の回答者が男性の回答者の約 2 倍となりました。すべての実施場所で女性が男性を上回っており、特にサークル・サロンと地域包括支援センターでは女性の回答者が多くなりました(表 1)。また、地域*5別にみると、鎌倉地域で女性が 4 分の 3 を占め最も構成比が高く、反対に男性は玉縄地域で 41.9%と最も多くなりました(表 2)。

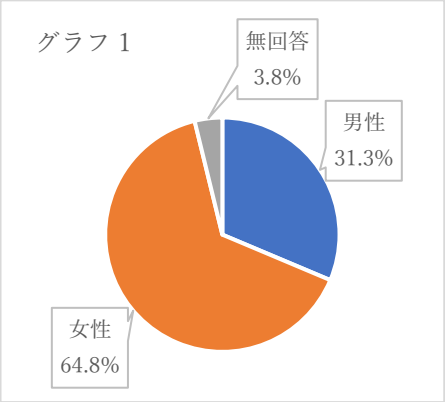


表1：性別 X 実施場所

	鎌倉市全体		老人福祉センター		地域包括支援センター		サークル・サロン		個人・その他		某マンション群	
男性	189	31.3%	62	38.3%	26	27.1%	28	17.9%	45	35.7%	28	44.4%
女性	391	64.8%	95	58.6%	67	69.8%	120	76.9%	76	60.3%	33	52.4%
無回答	23	3.8%	5	3.1%	3	3.1%	8	5.1%	5	4.0%	2	3.2%
合計	603		162		96		156		126		63	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

表2：性別 X 地域

	鎌倉市全体		鎌倉		腰越		深沢		大船		玉縄		無回答	
男性	189	31.3%	35	21.7%	35	30.7%	24	29.6%	30	33.3%	54	41.9%	11	40.7%
女性	391	64.8%	121	75.2%	76	65.8%	52	64.2%	55	61.1%	73	56.6%	14	51.9%
無回答	23	3.8%	5	3.1%	4	3.5%	5	6.2%	5	5.6%	2	1.6%	2	7.4%
合計	603		161		115		81		90		129		27	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

＊5)「地域」は、鎌倉市の 5 つの行政区（鎌倉地域、腰越地域、深沢地域、大船地域、玉縄地域）とし、原則として回答者がアンケート票で回答した地域を回答者が居住する地域としました。たとえば、老人福祉センター名越やすらぎセンターのサークル活動に参加したシニアが、アンケートに「腰越」と回答した場合、アンケート実施場所は鎌倉地域ですが、シニアの居住場所は腰越と考えられるため、回答者が居住する地域は腰越としました。また、居住地域が無回答の場合、地域包括センターの利用者や民生委員児童委員の見守り対象者、地域住民に限定されたボランティア団体の参加者など居住地域を特定できる場合は、その特定される地域を居住地域としました。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

2. 年齢構成

年齢構成は、60 代 12.8%(77 票)、70 代 41.8%(252 票)、80 代 36.7%(221 票)、90 代以上 8.3%(50 票)で 70 歳以上 90 歳未満のシニアが全体の 78.4%を占めました(グラフ 2)。また、地域包括支援センターでは 80 歳以上のシニアが多く、サークル・サロンでは 80 歳未満の若いシニアが多い結果となりました(表 3)。

地域別では、鎌倉地域・腰越地域・深沢地域では 80 代が最も多く、大船地域・玉縄地域では 70 代が最も多くなりました(表 4)。

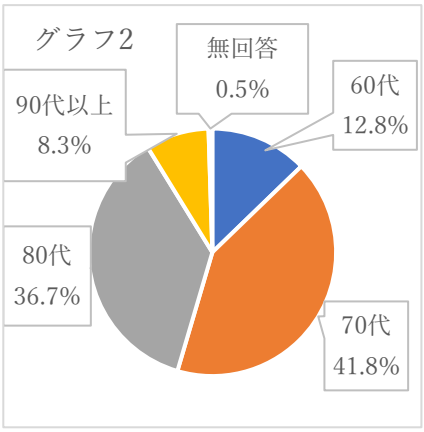


表3：実施場所 X 年齢

	鎌倉市全体		60代		70代		80代		90代以上		無回答	
老人福祉センター	162	26.9%	16	20.8%	79	31.3%	64	29.0%	2	4.0%	1	33.3%
地域包括支援センター	96	15.9%	3	3.9%	24	9.5%	48	21.7%	21	42.0%	0	0.0%
サークル・サロン	156	25.9%	31	40.3%	85	33.7%	34	15.4%	4	8.0%	2	66.7%
個人・その他	126	20.9%	18	23.4%	34	13.5%	52	23.5%	22	44.0%	0	0.0%
某マンション群	63	10.4%	9	11.7%	30	11.9%	23	10.4%	1	2.0%	0	0.0%
合計	603		77		252		221		50		3	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

表4：年齢 X 地域

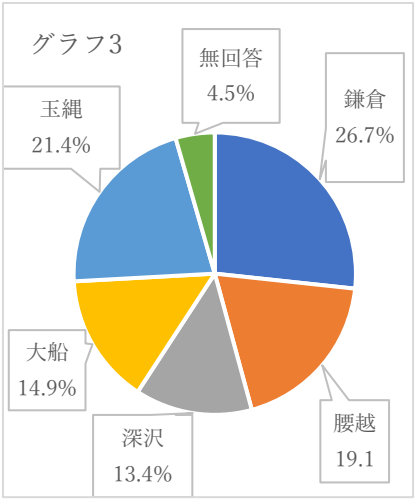
	鎌倉市全体		鎌倉		腰越		深沢		大船		玉縄		無回答	
60代	77	12.8%	28	17.4%	13	11.3%	14	17.3%	8	8.9%	13	10.1%	1	3.7%
70代	252	41.8%	56	34.8%	41	35.7%	27	33.3%	51	56.7%	62	48.1%	15	55.6%
80代	221	36.7%	61	37.9%	50	43.5%	37	45.7%	25	27.8%	40	31.0%	8	29.6%
90代以上	50	8.3%	15	9.3%	10	8.7%	3	3.7%	6	6.7%	14	10.9%	2	7.4%
無回答	3	0.5%	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%
合計	603		161		115		81		90		129		27	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

3. 回答者が居住する地域

アンケート回答者の居住地域は、鎌倉地域 26.7%（161 票）、腰越 19.1%（115 票）、深沢地域 13.4%（81 票）、大船地域 14.9%（90 票）、玉縄 21.4%（129 票）、無回答 4.5%（27 票）となりました（グラフ 3）。



4. まとめ

アンケートは、生活支援コーディネーターがそれぞれの担当地域の老人福祉センター・地域包括支援センター・民生委員児童委員協議会・地区社会福祉協議会などの関係者と連携し実施しましたが、無作為抽出法をとらず縁機法としたため、男女構成、年齢構成にばらつきがあり、各地域の集計結果をそのまま、その地域の特性を表す数値情報として扱うことはできません。しかし、各地域の集計はどの質問に対してもおおむね同じような結果となっており、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに伴う自粛生活のおけるシニアの考え、感覚、くらしの様子などをある程度捉えることができていると考えられます。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

Ⅲ　アンケート回答の集計と分析

【問1】　春の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下の自粛生活で不自由を感じましたか？

（いずれかを○で囲んでください。）　a. 感じた　　b. 感じなかった

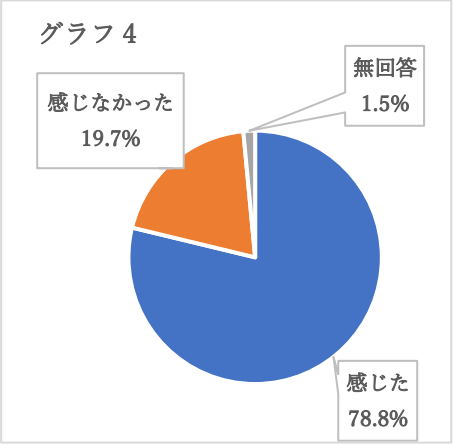
1. 設問の意図

この質問は、作業仮説①「新型コロナウイルス感染症の拡大は、高齢者の人とのつながりに深刻な影響を及ぼし、日常の暮らしが阻害され、『不自由』や『困りごと』を感じた。」を確認するための設問です。

令和 2(2020)年 4 月 7 日から 5 月 25 日の間、政府によって発出された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言とそれに伴う自粛要請により日常生活で不自由を感じたかどうかを質問しました。また、回答者が過去の具体的な経験について質問を最初に設定することで、このアンケート全体に答えやすくするための準備(アイスブレーキング)となることをこの質問に期待しました。

2. 回答結果

不自由を感じたか否かの設問に対して全体では、「感じた」78.8%（475 票)、「感じなかった」19.7%（119 票)、無回答 1.5%（9 票)となりました。シニア全体の 8 割近くが緊急事態宣言発出中の自粛生活で不自由を感じたという結果になりました(グラフ 4)。



3. 分析

性別では、「感じた」と答えた男性は 81.5%、女性は 77.7%となり女性とくらべて男性のほうが 3.8 ポイント高い結果となりました(表 5)。また、「感じなかった」と回答した女性は 20.2%となり男性より 1.7%高い結果でしたが、誤差の範囲と考えられ、性別では回答に大きな違いはないと考えられます。

表5：【問1】感じた/感じなかった　性別

	鎌倉全市		男性		女性		無回答	
感じた	475	78.8%	154	81.5%	304	77.7%	17	73.9%
感じなかった	119	19.7%	35	18.5%	79	20.2%	5	21.7%
無回答	9	1.5%	0	0.0%	8	2.0%	1	4.3%
合計	603		189		391		23	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

年代別にみると、70 代のシニアが最も多く「感じた」と回答し(表 6)、緊急事態宣言下、感染拡大予防のための自粛生活でさまざまな普段の当たり前な日常生活活動が制限され､不自由さを感じている 70 代のシニアが多いという実態が明らかとなりました。反対に 80 代以上では「感じなかった」と回答したシニアが増し、90 代以上では 40%が不安を感じなかったと回答しました。

表6：【問1】感じた/感じなかった　年代別

	鎌倉全市		60代		70代		80代		90代以上		無回答	
感じた	430	71.3%	54	70.1%	189	75.0%	156	70.6%	29	58.0%	2	66.7%
感じなかった	157	26.0%	22	28.6%	56	22.2%	59	26.7%	20	40.0%	0	0.0%
無回答	16	2.7%	1	1.3%	7	2.8%	6	2.7%	1	2.0%	1	33.3%
合計	603		77		252		221		50		3	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問2】　新型コロナウイルスの感染拡大が続く今、あなたのくらしで困りごとはありますか？

（いずれかを〇で囲んでください。）　a. ある　　b. ない

「ある」とお答えの方、それは、どのようなことですか？
次の①～④の中の該当する項目を〇で囲んでください。（複数回答可）

【外出関連】① 買物・通院・銀行・理美容院・娯楽・冠婚葬祭・ほか
【対人関連】② 会話・会議会合・会食宴会・近所づきあい・サークル活動・ほか
【趣味関連】③ 芸術鑑賞・カラオケ・運動・旅行・習い事・囲碁将棋麻雀・ほか
【家族関連】④ 家族の介護・離れて暮らす家族との交流・在宅勤務・ほか
【そ の 他】⑤ ＜記述＞（　　）

1. 設問の意図

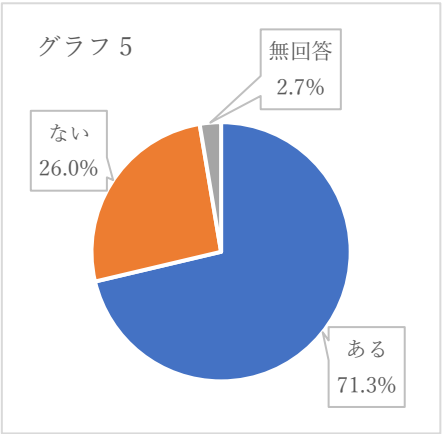
この質問も作業仮説①「新型コロナウイルス感染症の拡大は、高齢者の人とのつながりに深刻な影響を及ぼし、日常の暮らしが阻害され、『不自由』や『困りごと』を感じた。」を確認するための設問です。

5 月下旬に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言は解除されましたが、感染症拡大はいっこうに収束せず、地域のシニアたちも感染拡大が続く中でウィズコロナの生活を強いられています。その中で現在の日常生活に困っているかどうか、また、どのようなことに困っているかを質問しました。

2. 回答結果

何らかの困りごとがあるか否かを問う質問に対して、全体では、「ある」71.3%（430 票）、「ない」26.0%（157 票）、無回答 2.7%（16 票）となりました。シニアの約 7 割が、コロナ禍が続く現在の生活で困りごとがあると回答しました（グラフ 5）。

問 1 の緊急事態宣言で不自由を「感じなかった」と回答したシニアよりも、この質問に対して困りごとが「ない」と回答したシニアのほうが、慣れてきたからなのか 6.3 ポイント多くなりました。



3. 分析

性別では、「ある」と回答した男性は 74.6%で女性とくらべて男性のほうが 4 ポイント高くなりました（表 7）。また、「ない」と回答した女性は 27.9%となり男性より 7.3%高

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

い結果となりました。この結果にはさまざまな要因が考えられ、原因を特定することは困難ですが、男性は女性よりも暮らしに困りごとがあると感じやすいという傾向が示されています。

表7：【問2】はい/いいえ　性別

	鎌倉全市		男性		女性		無回答	
ある	430	71.3%	141	74.6%	276	70.6%	14	60.9%
ない	157	26.0%	39	20.6%	109	27.9%	8	34.8%
無回答	16	2.7%	9	4.8%	6	1.5%	1	4.3%
合計	603		189		391		23	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

年代別にみると、困りごとが「ある」と回答したシニアは 70 代が最も多く、80 代以上で「ない」と回答したシニアが 66.7%を占め、特に 90 代以上では 40%が困りごとを感じなかったと回答しました(表 8)。

80 代以上のシニアの困りごとが「ない」という回答が多くを占めることは、活動意欲の減少などにより対人関係への関心が低下し、自粛生活における日常の暮らしの困りごとを感じにくくなっていることを示していると思われます。

表8：【問2】はい/いいえ　年代別

	鎌倉全市		60代		70代		80代		90代以上		無回答	
ある	430	71.3%	54	70.1%	189	75.0%	156	70.6%	29	58.0%	2	66.7%
ない	157	26.0%	22	28.6%	56	22.2%	59	26.7%	20	40.0%	0	0.0%
無回答	16	2.7%	1	1.3%	7	2.8%	6	2.7%	1	2.0%	1	33.3%
合計	603		77		252		221		50		3	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

4. 具体的な「困りごと」について

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中でのシニアの困りごとを【外出関連】【対人関連】【趣味関連】【家族関連】に分類し、それぞれの関連分類に具体的な「困りごと」の項目を複数記載し、暮らしで困りごとが「ある」と回答した方に、選択してもらう回答方法（複数回答可）としました。各関連別の集計では、各関連分類に属する項目を 1 つ以上選択した場合、その関連分類に 1 票を加算することとしました。また、これらの関連分類とは別に【その他】を設け、そこに〇、または記述した場合、【その他】に 1 票を加算しました。

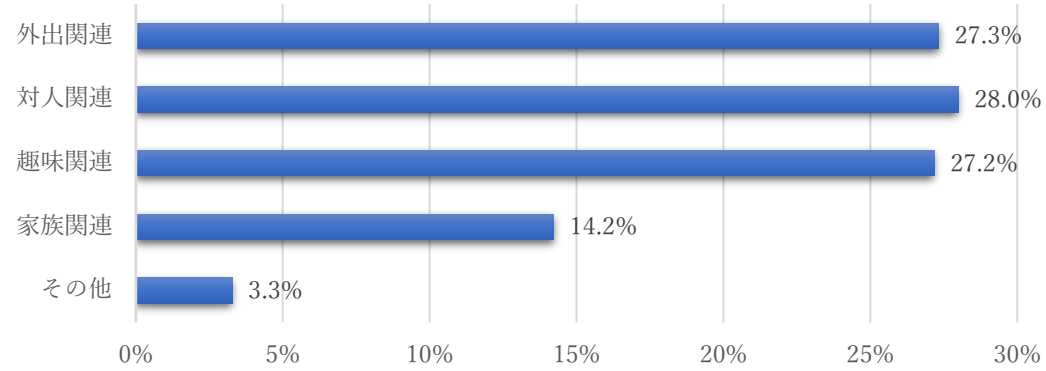
社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

① 関連分類別の集計（複数選択法）

集計の結果、関連分類の票数は 1,343 票となり、【外出関連】27.3%(367 票)、【対人関連】28.0%(376 票)、【趣味関連】27.2%(365 票) 、【家庭関連】14.2%(191 票)、【その他】3.3%(44 票)となりました(グラフ 6)。

外出関連、対人関連、趣味関連の困りごとはそれぞれおおよそ 28%で、家族関連の困りごとの 2 倍程度となり、家庭内よりも対外的な活動での困りごとが多いことがわかりました。

グラフ6



② 「困りごと」項目の集計

困りごとの具体的項目では、「旅行」(229 票)が最も多く、次に「サークル活動」(213 票)、「買物」と「娯楽」(それぞれ 191 票)が続く結果となりました。5 月 25 日に緊急事態宣言が解除されたのちも、シニアは旅行やサークル活動・娯楽のための外出を控え、買物・通院などの日常の外出でも困りごとを抱えている様子がうかがえます(グラフ 7)。

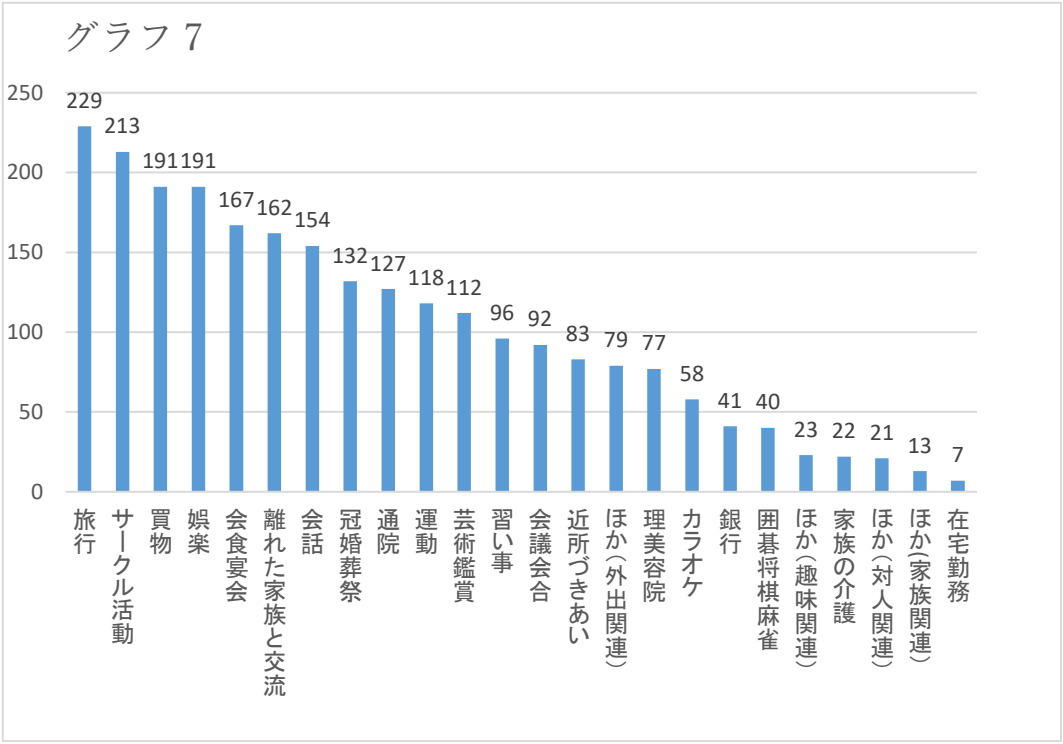
外出関連の項目では、「娯楽」と「買物」に次いで「冠婚葬祭」(132 票)となり、親類縁者の冠婚葬祭のために外出がままならないことがシニアの困りごとになっていることがわかります(グラフ 8)。

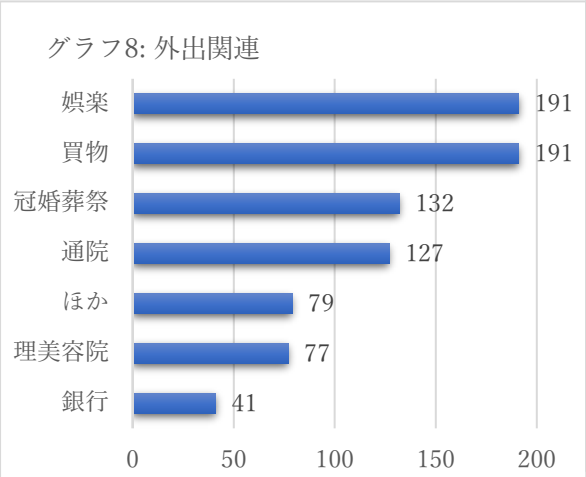
対人関連の項目では、「サークル活動」に次いで「会食宴会」(167 票)となり、友人やサークル仲間、家族との飲食を伴う懇親が制限されていることを困りごととととらえているシニアが多くなっています（グラフ 9)。

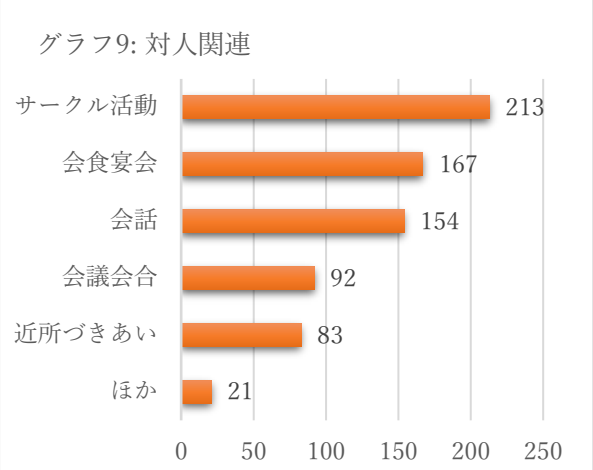
趣味関連の項目では、旅行に次いで運動(118 票)、その次に芸術鑑賞(112 票)となりました(グラフ 10)。

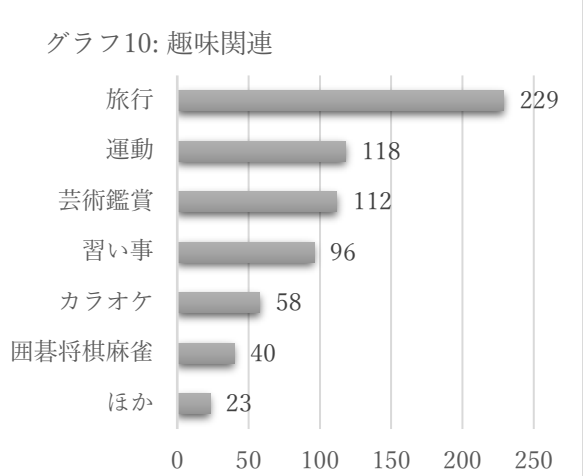
家族関連では「離れた家族との交流」(162 票)で最も多く、「家族の介護」(22 票)と在宅勤務(7 票)は少なくなりました(グラフ 11)。

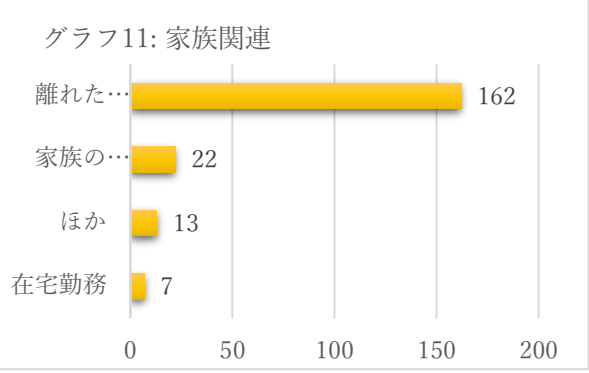
社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.











社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

集計表

【問 2】	複数選択法	鎌倉全市	
		票数	
	合計	603	
①外出関連	買物	191	22.8%
	娯楽	191	22.8%
	冠婚葬祭	132	15.8%
	通院	127	15.2%
	ほか	79	9.4%
	理美容院	77	9.2%
	銀行	41	4.9%
	合計	838	
外出関連の項目に○をつけた人数		367	27.3%
②対人関連	サークル活動	213	29.2%
	会食宴会	167	22.9%
	会話	154	21.1%
	会議会合	92	12.6%
	近所づきあい	83	11.4%
	ほか	21	2.9%
	合計	730	
対人関連の項目に○をつけた人数		376	28.0%
③趣味関連	旅行	229	33.9%
	運動	118	17.5%
	芸術鑑賞	112	16.6%
	習い事	96	14.2%
	カラオケ	58	8.6%
	囲碁将棋麻雀	40	5.9%
	ほか	23	3.4%
	合計	676	
趣味関連の項目に○をつけた人数		365	27.2%
④家族関連	離れた家族と交流	162	79.4%
	家族の介護	22	10.8%
	ほか	13	6.4%
	在宅勤務	7	3.4%
	合計	204	
家族関連の項目に○をつけた人数		191	14.2%
⑤その他	記述の件数	44	3.3%
	分類ごとの合計	1,343	

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問3】　人との密を避け、接触の機会を減らす中で、特に取り組まれていることはありますか？

（いずれかを〇で囲んでください。）　a. ある　　b. ない

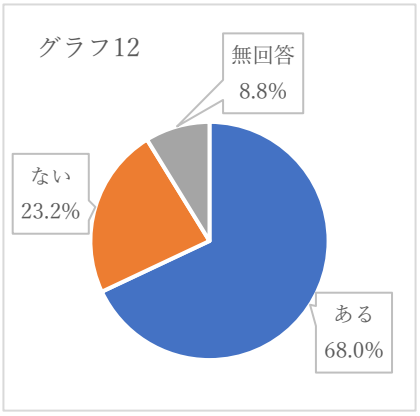
「ある」とお答えの方、それは、どのようなことですか？
次の①～④の中の該当する項目を〇で囲んでください。（複数回答可）

【健康関連】① 体操・散歩・マッサージ・栄養管理・認知症ドリル・ほか
【対人関連】② 電話・E メール・SNS・ビデオ通話・手紙・交換日記・ほか
【余暇関連】③ 読書・手芸・園芸・音楽・DIY・お菓子作り・ゲーム・ほか
【家庭関連】④ 家の掃除・庭の手入れ・新しい料理・終活・防災備蓄・ほか
【そ の 他】⑤ ＜記述＞（　　）

1. 設問の意図

この質問は、作業仮説②「高齢者は、この阻害に対処するため、人とのつながり方に工夫する、一人での過ごし方を工夫するなど、様々な対処法をとった。」を確認するための設問です。

2. 回答結果



新型コロナウイルス感染症拡大による自粛生活の中で、何らかの取り組みを行ったか否かを問う質問に対して、全体では、「ある」68.0%（410 票）、「ない」23.2%（140 票）、無回答 8.8%（53 票）という結果となり、シニアの約 7 割が、コロナ禍が続く現在の生活で特に取り組んでいることがあると回答しました(グラフ 12)。

問 2 で困りごとが「ある」と回答したシニア(71.3%)よりも問 3 で取り組んだことが「ある」と回答したシニアは 3.3 ポイント少なくなりました。詳しく見ると、問 2 で「ある」と回答した 430 名のうち 78.4%（337 名)が問 3 も「ある」と回答し、全体の 68%よりも 10 ポイント以上多く、暮らしの中に困りごとがあると「感じる」ことと特に取り組んだことが「ある」こととの間に相関性が認められます(表 9)。反対に、「暮らしの中に困りごとがない」と回答した 157 名のうち 80 名が「特に取り組んだこと」は無いと回答しており、全体の 23.2%の倍以上(51.0%)を占めています。このことは、コロナ禍の中の日常生活で何らかの困りごとを感じることが、何かに取り組もうという積極性につながりやすいという傾向を示しています。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

表9：問2 X 問3 クロス

				問2					
		鎌倉全市		ある		ない		無回答	
		603		430		157		16	
問3	ある	410	68.0%	337	78.4%	66	42.0%	7	43.8%
	ない	140	23.2%	57	13.3%	80	51.0%	3	18.8%
	無回答	53	8.8%	36	8.4%	11	7.0%	6	37.5%

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

3. 分析

性別では、取り組んでいることが「ある」と回答した女性は 69.3%で男性の 66.7%とくらべて 2.6 ポイント高くなりました(表 11)。また、「ない」と回答した女性は 21.7%となり男性より 4.8 ポイント低い結果となりました。この結果にもさまざまな要因が考えられ、原因を特定することは困難ですが、人との密を避け、接触の機会を減らす中で、女性は男性よりも積極的に何かに取り組もうとする意欲が強いという傾向を示しています。

表10：【問3】はい/いいえ　性別

	鎌倉全市		男性		女性		無回答	
ある	410	68.0%	126	66.7%	271	69.3%	13	56.5%
ない	140	23.2%	50	26.5%	85	21.7%	5	21.7%
無回答	53	8.8%	13	6.9%	35	9.0%	5	21.7%
合計	603		189		391		23	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

年代別にみると、問 1、問 2 と同様に 70 代のシニアが最も多く取り組んでいることが「ある」と回答しました(表 11)。コロナ禍の中で多くの 70 代のシニアが「困りごと」をリアルに感じ、普段の当たり前な日常生活活動が制限される中で、何とか自分の生活を豊かに保とうと、様々な取り組みをされていたことがうかがえます。一方、80 代以上で「ない」と回答したシニアが多く、特に 90 代以上では 46%が「ない」と回答しました。このことは問 2 と同様に 80 代以上のシニアの活動意欲の減少を示しているとともに何かに取り組もうという積極性が低下してきている可能性を示唆していると考えられます。

表11：【問3】はい/いいえ　年代別

	鎌倉全市		60代		70代		80代		90代以上		無回答	
ある	410	68.0%	57	74.0%	191	75.8%	138	62.4%	23	46.0%	1	33.3%
ない	140	23.2%	18	23.4%	42	16.7%	57	25.8%	23	46.0%	0	0.0%
無回答	53	8.8%	2	2.6%	19	7.5%	26	11.8%	4	8.0%	2	66.7%
合計	603		77		252		221		50		3	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しない中で、問２で確かめられたように、多くのシニアがさまざまな「困りごと」に直面しながら日々を暮らしています。問３では、その中でシニアが人とのつながり方、家の中での過ごし方で何らかの工夫や取り組みをしていることを確認ができました。

4. 具体的な「取り組み」について

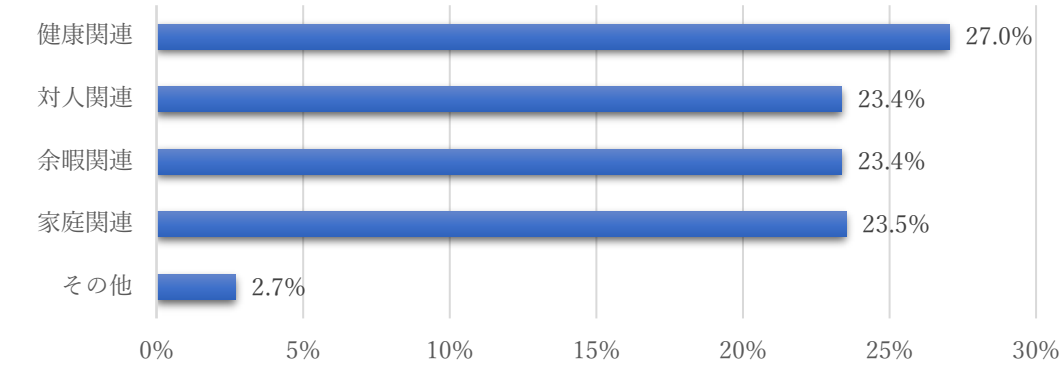
新型コロナウイルスの感染拡大が続く中でのシニアが取り組まれたことを【健康関連】【対人関連】【余暇関連】【家庭関連】に分類し、それぞれの関連分類に具体的な「取り組み」の項目を複数列挙し、取り組んだことが「ある」と回答した方に選択してもらう回答方法(複数回答可)としました。各関連別の集計では、各関連分類に属する項目を１つ以上選択した場合、その関連分類に１票を加算することとしました。また、これらの関連分類とは別に【その他】を設け、そこに○、または記述した場合、【その他】に１票を加算しました。

① 関連分類別の集計（複数選択法）

集計の結果、関連分類の票数は 1,335 票となり、その内訳は【健康関連】27.0%(361 票)、【対人関連】23.4%(312 票)、【余暇関連】23.4%(312 票)、【家庭関連】23.5%(314 票)、【その他】2.7%(36 票)となりました(グラフ 13)。

家庭関連・余暇関連・対人関連の取り組みはほぼ同じでしたが、健康関連の取り組みが 3.5 ポイントほどそれらを上回りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛生活の中で、さまざまな取り組みを行うシニアのくらしをうかがい知ることができました。

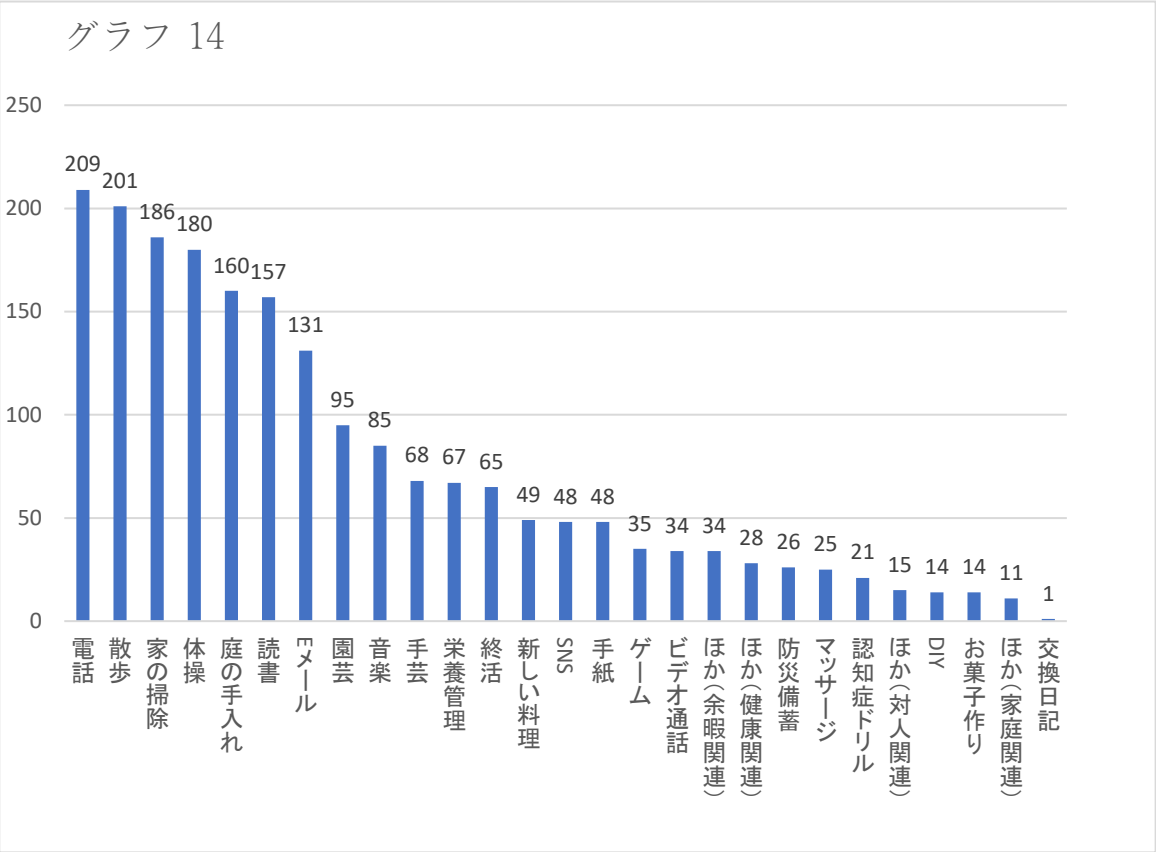
グラフ13



社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

② 「取り組み」項目の集計

全体でみると、「電話」が 209 票と最も多く、次に「散歩」(201 票)、次いで「家の掃除」(186 票)、「体操」(180 票)という結果となりました。健康関連の項目よりも「電話」を特に取り組んだこととして選択したシニアが多いことは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため直接面談することが制限される中で、離れて暮らす家族や友人・知人、サークル仲間たちと何とかコミュニケーションを維持していこうとする意思の表れといえます(グラフ 14)。



健康関連の項目では、「散歩」(201 票)が最も多く、次に「体操」(180 票)、次いで「栄養管理」(67 票)が選択されました。外出自粛の中で、個人でできる散歩や体操で健康維持を心掛けている様子がうかがえます。反対に「マッサージ」「認知症ドリル」を選択したシニアは少ない結果となりました(グラフ 15)。

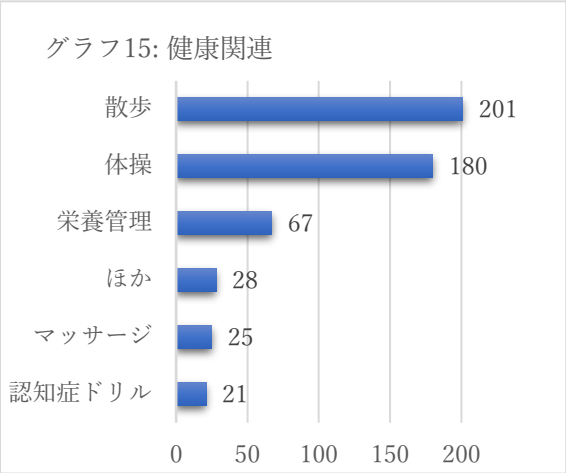
対人関連の項目では、「電話」(209 票)に次いで「E メール」(131 票)となり、スマホや携帯電話、パソコンなどのデジタルデバイスを利用したコミュニケーションがシニアの間である程度浸透してきていると考えられます。第 3 位は「手紙」と「SNS」が同数(48 票)となり、LINE や Facebook など web 技術を利用したインターネットコミュニケーションが従来からの手紙によるコミュニケーションと同程度にまで拡大してきていることが確認できます。Zoom などのデジタルデバイスを

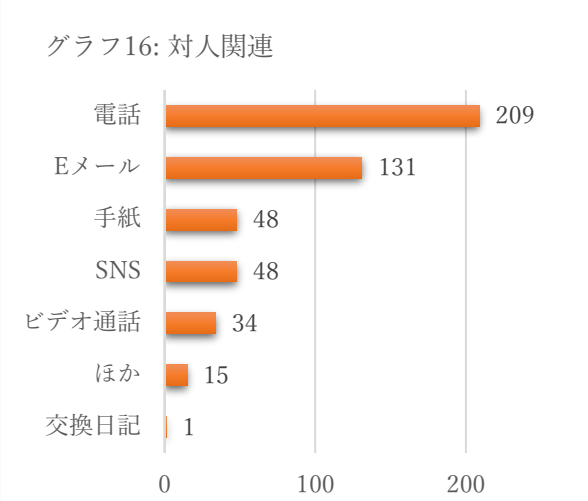
社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

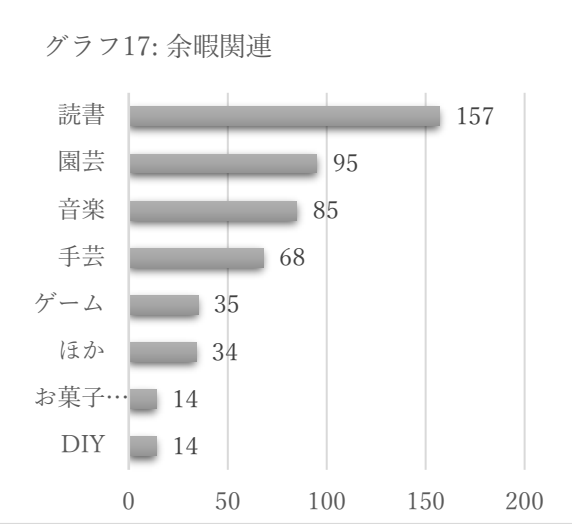
利用したビデオ通話は 34 票とまだ多くはありませんが、今後、感染症予防のためにリモート会議が普及するに従い、シニア間のコミュニケーションにも活用されていくのではないかと思われます(グラフ 16)。

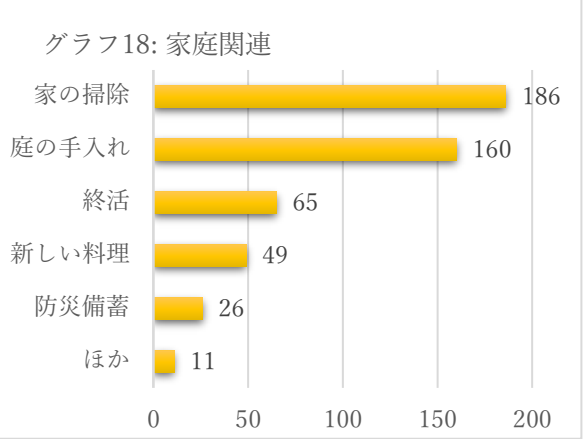
余暇関連の項目では、「読書」が 157 票で最も多く、次に「園芸」(95 票)、次いで「音楽」(85 票)となりました。人と直接会うことが制限された中で、家のなかで本や新聞、雑誌などを読んだり、植物の手入れをしたり、音楽に親しんだりして余暇を過ごしたシニアが多かったと思われます。

家庭関連では「家の掃除」(186 票)と「庭の手入れ」(160 票)が多くなりましたが、第 3 位に「終活」(65 票)が選択されたことは興味深く思います(グラフ 18)。性別でみると女性で終活を選択した割合は 11.3%で男性の 8.5%よりも 2.8 ポイント多くなっています。また、年代別では 60 代(6.5%)、70 代(11.5%)、80 代(12.2%)、90 代以上(8.0%)となり、70～80 代のシニアで選択した割合が多くなりました。「防災備蓄」は 26 票で少ない結果となりました。









社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

また、「取り組み」項目間の関連を見ると、1つでも特に取り組んだ項目を選択したシニアは、他の項目も選択する傾向があります。たとえば特に取り組んだこととして「栄養管理」を選択したシニアは、「E メール」「手紙」「読書」「園芸」「音楽」「終活」「新しい料理」「防災備蓄」の 8 項目を選択した割合が、鎌倉市全体の割合よりも 2 倍以上高く、「新しい料理」を選択したシニアは、「栄養管理」「E メール」「SNS」「読書」「園芸」「終活」の 6 項目を選択した割合が、鎌倉市全体の割合よりも 2 倍以上高い結果となりました。また、「園芸」を選択したシニアは、「栄養管理」「庭の手入れ」「新しい料理」「防災備蓄」の 4 項目を選択した割合が、鎌倉市全体の割合よりも 2 倍以上高く、「終活」を選択したシニアは、「栄養管理」「手紙」「新しい料理」「防災備蓄」の 4 項目を選択した割合が、鎌倉市全体の割合よりも 2 倍以上高い結果となりました（表 12)。そのほか、「手紙」「防災備蓄」「読書」「E メール」を選択したシニアも他の項目を選択する割合が多くなりました。

このことから、コロナ禍で不自由を強いられるくらしの中でも、何か一つでも前向きに身近なことに取り組むことで、シニアの生活全般に積極性や活力がひろがっていくように思われます。

表12：問3 項目別 クロス分析

				鎌倉市全体 n=603		問3 栄養管理 ○ 67		新しい料理 ○ 49		園芸 ○ 95		終活 ○ 65	
問3	①健康関連	体操	○	180	30%	36	54%	26	53%	45	47%	30	46%
		散歩	○	201	33%	37	55%	25	51%	56	59%	32	49%
		栄養管理	○	67	11%			14	**29%**	26	**27%**	21	**32%**
	②対人関連	電話	○	209	35%	41	61%	33	67%	61	64%	36	55%
		Eメール	○	131	22%	31	**46%**	24	**49%**	39	41%	22	34%
		SNS	○	48	8%	8	12%	8	**16%**	11	12%	5	8%
		手紙	○	48	8%	14	**21%**	7	14%	14	15%	11	**17%**
	③余暇関連	読書	○	157	26%	42	**63%**	28	**57%**	37	39%	30	46%
		園芸	○	95	16%	26	**39%**	17	**35%**			17	26%
		音楽	○	85	14%	19	**28%**	11	22%	17	18%	14	22%
	④家庭関連	家の掃除	○	186	31%	41	61%	24	49%	53	56%	26	40%
		庭の手入れ	○	160	27%	33	49%	19	39%	71	**75%**	21	32%
		終活	○	65	11%	21	**31%**	11	**22%**	17	18%		
		新しい料理	○	49	8%	14	**21%**			17	**18%**	11	**17%**
		防災備蓄	○	26	4%	9	**13%**	3	6%	10	**11%**	12	**18%**

赤太字 鎌倉市全体の割合の**2倍以上**

赤数字 鎌倉市全体の割合の1.5倍以上2倍未満

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

集計表

【問 3】	複数選択法	鎌倉全市 票数	
	合計	603	
①健康関連	散歩	201	38.5%
	体操	180	34.5%
	栄養管理	67	12.8%
	ほか	28	5.4%
	マッサージ	25	4.8%
	認知症ドリル	21	4.0%
	合計	522	
健康関連の項目に〇をつけた人数		361	27.0%
②対人関連	電話	209	43.0%
	Eメール	131	27.0%
	SNS	48	9.9%
	手紙	48	9.9%
	ビデオ通話	34	7.0%
	ほか	15	3.1%
	交換日記	1	0.2%
	合計	486	
対人関連の項目に〇をつけた人数		312	23.4%
③余暇関連	読書	157	31.3%
	園芸	95	18.9%
	音楽	85	16.9%
	手芸	68	13.5%
	ゲーム	35	7.0%
	ほか	34	6.8%
	DIY	14	2.8%
	お菓子作り	14	2.8%
	合計	502	
余暇関連の項目に〇をつけた人数		312	23.4%
④家庭関連	家の掃除	186	37.4%
	庭の手入れ	160	32.2%
	終活	65	13.1%
	新しい料理	49	9.9%
	防災備蓄	26	5.2%
	ほか	11	2.2%
	合計	497	
家庭関連の項目に〇をつけた人数		314	23.5%
⑤その他	記述の件数	36	2.7%
	分類ごとの合計	1,335	

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問4】　コロナ禍の収束が見えない中で、これからのくらしで不安に感じることはありますか？

（いずれかを〇で囲んでください。）　a. ある　　b. ない

「ある」とお答えの方、それは、どのようなことですか？
次の①～④の中の該当する項目を〇で囲んでください。（複数回答可）

【健康関連】① コロナ感染・持病・物忘れ・うつ・飲酒量増・運動不足・ほか
【対人関連】② 3 密を避けること・人づきあいの減少・親しい人との別離・ほか
【経済関連】③ 収入減・失業・休廃業・家計費増・ローン返済・資金借入・ほか
【社会関連】④ コロナ蔓延・自然災害・治安・偏見と差別・国内外の紛争・ほか
【そ の 他】⑤ ＜記述＞（　　）

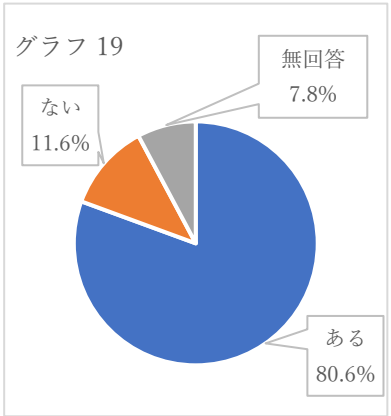
「ない」とお答えの方、その理由をお聞かせください。＜記述＞
（　　）

1. 設問の意図

この質問は、作業仮説③「コロナ禍の収束が見通せない現状では、対処療法的なやり方だけではもはや十分ではなく、高齢者は不安を感じるとともに、精神的な抑圧が鬱積されつつある。」を確認するための設問です。

2. 回答結果

くらしの中で不安を感じるか否かを問う質問に対して、全体では、「ある」80.6%（486 票）、「ない」11.6%（70 票）、無回答 7.8%（47 票）という結果となりました（グラフ 19）。問 4 の「ある」と回答したシニアの割合は、問 1 で、自粛生活で不自由を「感じた」(78.8%)、問 2 でくらしに困りごとが「ある」(71.3%)、問 3 で特に取り組んでいることが「ある」(68.0%)とする回答と比べて高く、コロナ禍が続く現在のくらしの中で多くのシニアが何らかの不安を抱えて暮らしていることがわかります。



特に問 4 で不安に感じることが「ある」と回答したシニア(80.6%)と比べて問 3 で特に取り組んだことが「ある」と回答したシニアは 68.0%で 12.6 ポイント少なくなりました。不安に感じることがあると回答したシニアのうち特に取り組んだことがあると回答したのは 75.3%（366 票)にとどまり、不安を感じながらも自粛生活の中で何もできないでいるシニアの存在を暗示しています(表 13)。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

表13：問3 X 問4

		問4「ある」	
		486	
問3	ある	366	75.3%
	ない	83	17.1%
	無回答	37	7.6%

3. 分析

性別では、「ある」と回答した女性は 82.1%で男性の 79.9%とくらべて 2.2 ポイント高くなりました(表 14)。また、「ない」と回答した男性は 11.6%、女性は 11.3%でほぼ同率となりました。無回答の男性のほうが若干無回答の女性よりも多くなっていますが、全体としては性別に関わりなく約 8 割のシニアがこれからのくらしに不安を感じているといえます。

表14：【問4】ある/ない　性別

	全体		男性		女性		無回答	
ある	486	80.6%	151	79.9%	321	82.1%	14	60.9%
ない	70	11.6%	22	11.6%	44	11.3%	4	17.4%
無回答	47	7.8%	16	8.5%	26	6.6%	5	21.7%
合計	603		189		391		23	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

年代別に「不安がある」と回答した割合をみると、60 代のシニアが最も多く(87.0%、67 票/77 票)、次いで 70 代(84.5%、213 票/252 票)、90 代以上(80.0%、40 票/50 票)となり、80 代が 74.7%(165 票/221 票)と最も低くなりました(表 15)。反対に「不安がない」と回答したシニアは全体では 11.6%(70 票)ですが、90 代以上は 20.0%、80 代は 11.3%、70 代は 10.7%、60 代は 10.4%となり、年齢が上がるとともに「不安がない」と回答するシニアの割合が増えていることがわかります(表 15)。ある 90 代の女性は、このコロナ禍で感じたことを自由にお書きください、という質問に「戦争を体験し、この年まで生きていると動じ無くなる。世の中の流れに応じていくしかない」と答えられていました。加齢とともにある種の達観のような境地に近づくのかもしれません。

表15：【問3】 ある/ない　年代別

	全体		60代		70代		80代		90代以上		無回答	
ある	486	80.6%	67	87.0%	213	84.5%	165	74.7%	40	80.0%	1	33.3%
ない	70	11.6%	8	10.4%	27	10.7%	25	11.3%	10	20.0%	0	0.0%
無回答	47	7.8%	2	2.6%	12	4.8%	31	14.0%	0	0.0%	2	66.7%
合計	603		77		252		221		50		3	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

問３で確かめたように、約７割のシニアが新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない中で、何らかの取り組みを行っていると回答しました。しかし、アンケートを実施した９月中旬から 10 月下旬には、有効なワクチンや特効薬の開発についての情報はまだ十分ではなく、国内で新規の感染者数や重症者数、死者数や患者クラスターの発生数が依然として増加していることや海外における急速な感染拡大、米国で発生した人種差別に由来するといわれる暴動や事件などさまざまな暗い報道に接し、シニアは人とのつながりが制限された中で不安を募らせていったと思われます。

4. 具体的な「不安」の内容について

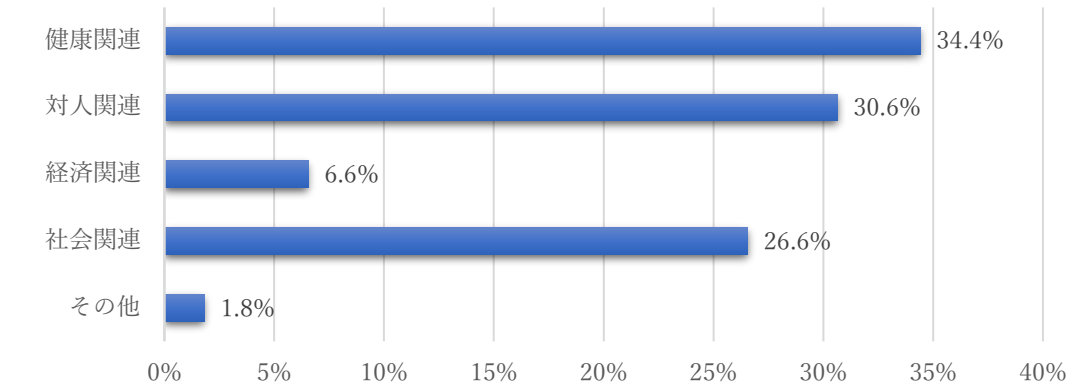
コロナ禍の収束が見えない中で、シニアがこれからのくらしで不安に感じることを【健康関連】【対人関連】【経済関連】【社会関連】に分類し、それぞれの関連分類に具体的な「不安」の項目を複数列挙し、不安に感じることが「ある」と回答した方に選択してもらう回答方法(複数回答可)としました。各関連別の集計では、各関連分類に属する項目を１つ以上選択した場合、その関連分類に１票を加算することとしました。また、これらの関連分類とは別に【その他】を設け、そこに〇、または記述した場合、【その他】に１票を加算しました。

① 関連分類別の集計（複数選択法）

集計の結果、関連分類の票数は 1,374 票となり、その内訳は【健康関連】34.4%（473 票)、【対人関連】30.6%（421 票)、【経済関連】6.6%（90 票)、【社会関連】26.6%（365 票)、【その他】1.8%（25 票)となりました(グラフ 20)。

健康・対人・社会関連で不安を感じるシニアは経済関連で不安を感じるシニアよりも約４から５倍多く、経済よりも健康・対人・社会関連でシニアが大きな不安を抱えている実態を見ることができます。

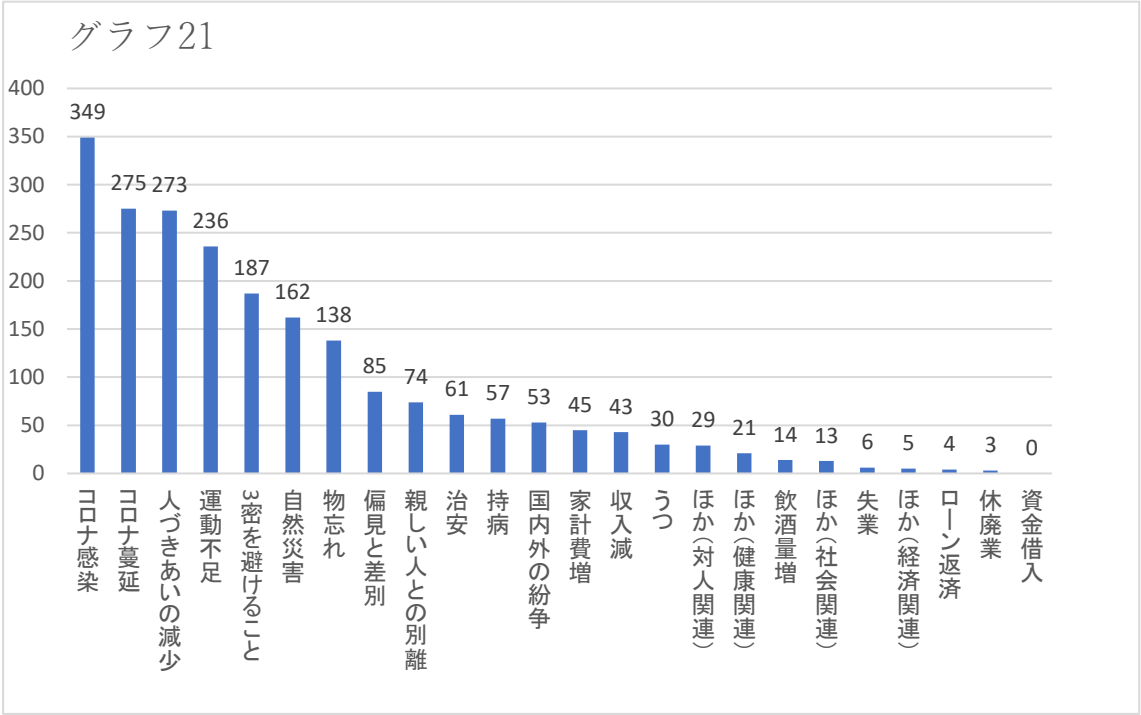
グラフ２０



社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

② 「不安」項目の集計

全体でみると、「コロナ感染」が 349 票と最も多く、次に「コロナ蔓延」(275 票)が多くなりました。新型コロナウイルスという未知の疾病に感染すること、あるいは、社会にウイルスが蔓延するという、感染症そのものに対する不安や恐怖が、シニアが感じる不安の上位を占めています。これらの不安の次に多いのは「人づきあいの減少」(273 票)で、感染症拡大防止のため、対人関係が希薄になることへの不安をシニアが強く感じていることがわかります。



健康関連の項目では、「コロナ感染」(349 票)の次に「運動不足」(236 票)、次いで「物忘れ」(138 票)が選択され、自粛生活が続く中で運動能力や記憶力で虚弱（フレイル）となる不安を抱えるシニアが多いことがわかります。一方、「うつ」になることを不安と感じるシニアは 30 票と少なくなりました(グラフ 22)。

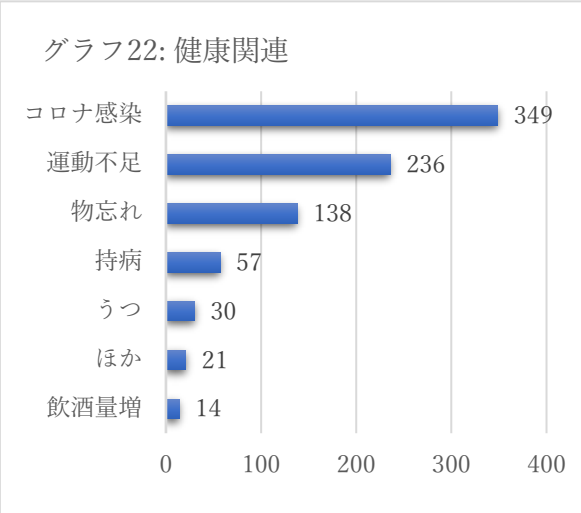
対人関連の項目では、「人づきあいの減少」(273 票)に次いで「3 密を避けること」(187 票)、「親しい人との別離」(74 票)となりました(グラフ 23)。「親しい人との別離」は、自分自身または、自分の親しい人（家族・友人など）が新型コロナウイルスに罹患し、重症化して ICU に入る、あるいは最悪の場合死別してしまうことを暗に示唆する選択肢としました。今回のアンケートを実施した時点では、まだ、票数は多くはありませんが、今後、感染症が一層拡大し、さらに死者が増えていく事態になると、この項目の票数が上昇していくと懸念されます。

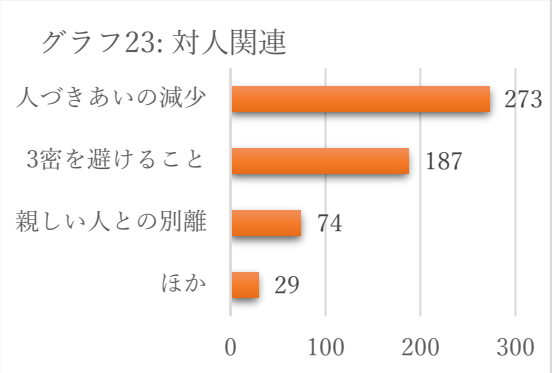
経済関連の項目では、「家計費増」が(45 票)で最も多く、次に「収入減」(43 票)となりました(グラフ 24)。「失業」「ローン返済」「休廃業」はそれぞれ 6 票、4 票、

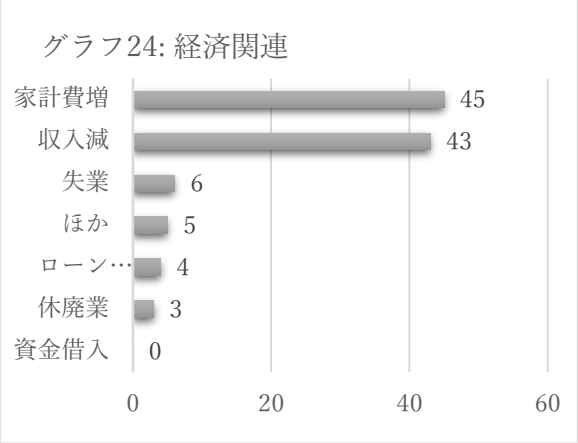
社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

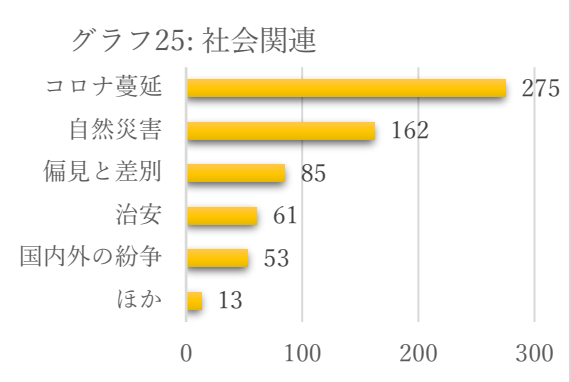
3 票と少なく、「資金借入」は 0 票でした。今回のアンケートに回答したシニアは、外出自粛の中で同居家族が在宅する機会が増え、食費や光熱水費、通信費などの生活費用が年金生活の家計費を圧迫することへの不安を他の項目よりも多く感じていたことがわかります。

社会関連では「コロナ蔓延」(275 票)に次いで、「自然災害」(162 票)が多くなりました(グラフ 25)。このことは、感染症が拡大する中で、地震や風水害による避難所の開設など複合災害に対する不安を多くのシニアが感じていることを示しています。3 番目は「偏見と差別」(85 票)となりました。ある 70 代の女性は問 8 の自由記述で「人に対する誹謗中傷で人のやさしさ、思いやりが無くなってゆくのがこわいですね。」と、コロナが社会に蔓延していく中で、人の心から寛容さや優しさが薄れていくことを不安に感じると記述していましたが、今後、感染症拡大防止のために対人関係がさらに希薄になることで、シニアが孤立、他者への不寛容、偏見や差別が社会に広がることが危惧されます。









社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

③　項目間の分析

問２で、困りごとを感じ「ない」と回答したシニアは、問４の「親しい人との別離」を不安に感じる割合は 2.5%で、鎌倉市全体の 12.3%の約 5 分の 1 にとどまり、対人関係についての関心が低くなることを示しています(表 16)。

表16：
問2 X 問4 クロス分析

			鎌倉市全体 n=603		問2					
					ある		ない		無回答	
					430		157		16	
問4	親しい人との別離	○	74	12.3%	68	15.8%	4	2.5%	2	12.5%

問３の「特に取り組まれていること」として「E メール」「園芸」「新しい料理」「防災備蓄」を選択したシニアは、鎌倉市全体のシニアと比べて「物忘れ」を不安と感じる割合が少なくなりました。また、「防災備蓄」を選択したシニアは、「コロナ感染」「コロナ蔓延」に対して不安を感じる傾向が低く、「体操」と「終活」を選択したシニアは、「収入減」を不安に感じる傾向が低いことがわかります。今回のアンケート結果だけで、その項目間の因果関係を推察し何らかの仮説を立てていくことは困難ですが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、外出自粛などさまざまな生活行動が制限される中で、シニアができる範囲内で何かに積極的に「取り組む」という態度が、シニアの不安を少しでも和らげる可能性はあるかもしれません(表 17)。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

表17：問3 X 問4 クロス分析

				鎌倉市全体 n=603		問3 体操 ○ 180		Eメール ○ 131		園芸 ○ 95		音楽 ○ 85		終活 ○ 65		新しい料理 ○ 49		防災備蓄 ○ 26	
問4	①健康関連	コロナ感染	○	349	57.9%	123	68.3%	92	70.2%	69	72.6%	62	72.9%	45	69.2%	40	81.6%	13	50.0%
		運動不足	○	236	39.1%	92	51.1%	69	52.7%	49	51.6%	43	50.6%	44	67.7%	28	57.1%	18	69.2%
		物忘れ	○	138	22.9%	39	21.7%	25	19.1%	19	20.0%	30	35.3%	19	29.2%	9	18.4%	4	**15.4%**
	②対人関連	人づきあいの減少	○	273	45.3%	98	54.4%	74	56.5%	57	60.0%	50	58.8%	43	66.2%	30	61.2%	15	57.7%
		3密を避けること	○	187	31.0%	74	41.1%	54	41.2%	44	46.3%	40	47.1%	27	41.5%	26	53.1%	11	42.3%
		親しい人との別離	○	74	12.3%	34	18.9%	23	17.6%	15	15.8%	12	14.1%	14	21.5%	9	18.4%	7	26.9%
	③経済関連	家計費増	○	45	7.5%	18	10.0%	21	16.0%	14	14.7%	5	5.9%	10	15.4%	6	12.2%	3	11.5%
		収入減	○	43	7.1%	11	6.1%	15	11.5%	11	11.6%	9	10.6%	3	**4.6%**	4	8.2%	4	15.4%
	④社会関連	コロナ蔓延	○	275	45.6%	104	57.8%	89	67.9%	54	56.8%	51	60.0%	33	50.8%	37	75.5%	10	38.5%
		自然災害	○	162	26.9%	74	41.1%	55	42.0%	35	36.8%	36	42.4%	27	41.5%	28	57.1%	14	53.8%
		偏見と差別	○	85	14.1%	28	15.6%	32	24.4%	25	26.3%	16	18.8%	18	27.7%	16	32.7%	7	26.9%

赤太字 鎌倉市全体の割合よりも25%以上少ない
赤数時 鎌倉市全体の割合よりも10%～25%少ない。

問4で「自然災害」を選択したシニアは全シニアの25.0%(p.30集計表)を占めますが、問3で「防災備蓄」を選択したシニアは26票で5.6%(p.21集計表)にとどまります。このことは、感染症が拡大する中で複合災害への不安は募るが、現状では災害時の避難所への避難や在宅避難についての具体的な検討や対策がまだできていない、あるいは、そのような状況についてのイメージすらまだ思いめぐらすことが困難なことを暗示しているのではないでしょうか。新型コロナウイルス感染症が拡大する今、緊急時の避難所運営マニュアルの作成など防災計画をしっかりと立て、地域のシニアに正確な情報を伝えていくことは喫緊の課題です。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

5. これからのくらしで「不安」に感じることが「ない」理由

今回のアンケートの結果では、国内外での新型コロナ感染症拡大の報道に接し、多くの人々が不安を感じて生活をしている中で、1割強のシニアは不安を感じずにくらしていると回答しています。これらの不安が「ない」と回答したシニアのコメントの中に、このコロナ禍で不安を感じずにくらしていくヒントがあるかもしれないと考え、「ない」と回答したシニアに対してこの質問を問いかけました。

① 回答結果

問4の「これからのくらしで不安に感じることはありますか」という質問に「ない」と回答した70票のうちその理由を記述したのは41票、「ある」と回答して記述したのが1票、無回答で記述したのも1票あり、合計43票の記述回答がありました。

② 回答内容

さまざまな回答がありましたが、「いつもとかわらず生活をしています」(70代女性)、「従来と変わらない生活を送っている」(90代女性)、「変わらない日常が暮らせている」(70代男性)というように生活での変化を感じていないという記述や、「特に生活が変わらないから、ずっとうちにいる。」(90代女性、「殆ど外出もせず不便不安を感ずる事が余り無い」(80 代女性)、「足の痛みで元々外には出ません」(80代女性)と、外出しないので不安を感じないという記述が多く見られました。

一方、「長く生きて思い残す事ない」(80代男性)、「与えられた環境の中を素直に生きる」(60代男性)、「人生には不安はつきものだから」(60代女性)などの記述も見られました。

※ 記述回答文の全文を、「記述文集」に掲載しています。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

集計表

【問 4】	複数選択法	鎌倉全市	
		票数	
	合計	603	
①健康関連	コロナ感染	349	41.3%
	運動不足	236	27.9%
	物忘れ	138	16.3%
	持病	57	6.7%
	うつ	30	3.6%
	ほか	21	2.5%
	飲酒量増	14	1.7%
	合計	845	
健康関連の項目に〇をつけた人数		473	34.4%
②対人関連	人づきあいの減少	273	48.5%
	3密を避けること	187	33.2%
	親しい人との別離	74	13.1%
	ほか	29	5.2%
	合計	563	
対人関連の項目に〇をつけた人数		421	30.6%
③経済関連	家計費増	45	42.5%
	収入減	43	40.6%
	失業	6	5.7%
	ほか	5	4.7%
	ローン返済	4	3.8%
	休廃業	3	2.8%
	資金借入	0	
	合計	106	
経済関連の項目に〇をつけた人数		90	6.6%
④社会関連	コロナ蔓延	275	42.4%
	自然災害	162	25.0%
	偏見と差別	85	13.1%
	治安	61	9.4%
	国内外の紛争	53	8.2%
	ほか	13	2.0%
	合計	649	
社会関連の項目に〇をつけた人数		365	26.6%
⑤その他	記述の件数	25	1.8%
	分類ごとの合計	1,374	

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問 5】コロナ禍が終息したら何をされたいですか？
　　または、今、我慢していることがあれば教えてください。

1. 設問の意図

この質問は、問 4 と同様に作業仮説③「コロナ禍の収束が見通せない現状では、対処療法的なやり方だけではもはや十分ではなく、高齢者は不安を感じるとともに、精神的な抑圧が鬱積されつつある。」を確認するために設けた質問ですが、問 4 が、シニアが感じている「不安」について問う質問であるのに対し、この質問は、シニアが今回のコロナ禍の中で何を我慢し、何が精神的な抑圧となっているのかを尋ねる質問です。

2. 回答結果

鎌倉市全体で 439 票に記述回答があり、回答率は 72.8%となりました。このことは、鎌倉市の多くのシニアが、コロナ禍の中でさまざまな活動を制限せざるをえず、精神的な抑圧が鬱積されていることを示しています。

※　記述回答文の全文を、巻末の「記述文集」に掲載しています。

3. 記述内容

全記述回答文を表 18 に挙げたキーワードで検索すると、「旅・旅行・海外旅行」が 207 票と圧倒的に多く、次いで「会食・外食・食事会・飲み会」(99 票)と「友人・友達・知人」(92 票)が続きます。

令和 2 年 4 月～5 月の緊急事態宣言時に、県外への移動の自粛要請が出され、国内外の旅行が著しく制限されました。緊急事態宣言解除後、政府の GOTO トラベル事業が始まり国内旅行の促進が図られましたが、多くのシニアが、このアンケート実施期間中(令和 2 年 9 月～10 月)も、好きな旅行を我慢していたことがわかります。

家族や友人との会食などの交流や関わりも多く、シニアにとって大きな課題です。

表18 【問5】　記述分析

キーワード	票数
旅・旅行・海外旅行	207
会食・外食・食事会・飲み会	99
友人・友達・知人	92
家族・息子・娘・夫・孫	24
交流・関わり	20
カラオケ・合唱・コーラス	16
自由	13
美術鑑賞・芸術鑑賞・コンサート鑑賞	10
平常な生活・もとの生活	9
全記述票数	439

※1票に複数のキーワードが記述されているため、
各キーワードの票数の合計は、全記述票数よりも多い。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問6】　現在、密を避けた人との関わりが求められています。
コロナ禍前とは異なるくらしの中で、あなたは人との関わり方にもどかしさを感じますか？
(一つお選びください)
a. 大いに感じる ・ b. 少し感じる ・ c. あまり感じない ・ d. 全く感じない

1. 設問の意図

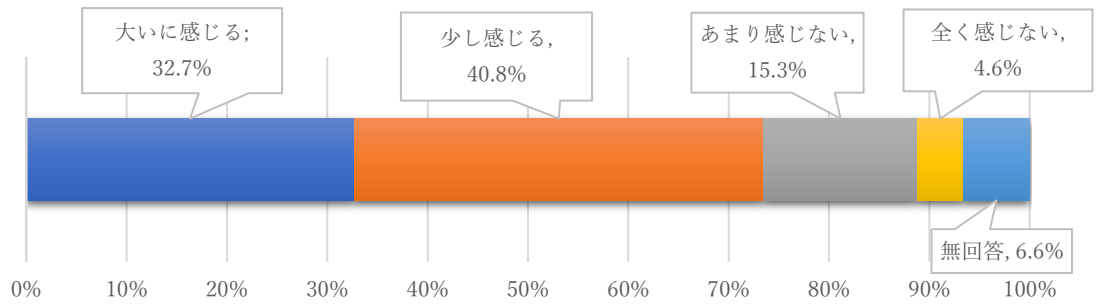
この質問は、作業仮説④「高齢者の不安や精神的に鬱積された抑圧（欲求不満）の大きな要因として親密な対人関係に対する阻害があり、高齢者は密な人との関わりが阻害されたことに対して「もどかしさ」を感じている。」を確認するための設問です。

この質問では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、様々な他者との交流を阻害されたシニアの悲しみや苦しみ、残念な気持ちを「もどかしさ」と表現して、シニアに「もどかしさ」をどの程度感じているのかを多肢選択法で尋ねました。

2. 回答結果

この質問に対して、全体では、「大いに感じる」32.7%（197 票）、「少し感じる」40.8%（246 票）、あまり感じない 15.3%（93 票）、全く感じない 4.6%（28 票）、無回答 6.6%（40 票）となりました（グラフ 26 および表 19）。「大いに感じる」と「少し感じる」と回答したのは 443 票で 73.5%を占め、多くのシニアが人との関わり方にもどかしさを感じていることがわかります。反対に「全く感じない」と回答したシニアは、全体の 4.6%にとどまる結果となりました。

グラフ 26



3. 分析

性別では、「大いに感じる」と答えた女性は 33.9%で男性の 32.0%とくらべて 1.9 ポイント高く（表 19）、「少し感じる」と回答した男性は 42.3%で女性よりも 2.7 ポイント高くなりました。「あまり感じない」と回答した男性は 13.5%で女性と比べて 2.6 ポイ

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

ント低く、「全く感じない」と回答した男性は、5.8%で女性よりも 1.9 ポイント高くなりました。

「大いに感じる」と「少し感じる」の合計は、男性 74.3%、女性 73.5%でほぼ同率でした。もどかしさを「全く感じない」と答える傾向は若干男性のほうが強いと思われます。

表19:【問6】 性別

			男性		女性		無回答	
大いに感じる	197	32.7%	61	32.0%	133	33.9%	4	17.4%
少し感じる	246	40.8%	80	42.3%	155	39.6%	11	47.8%
あまり感じない	93	15.3%	26	13.5%	63	16.1%	4	17.4%
全く感じない	28	4.6%	11	5.8%	16	4.0%	1	4.3%
無回答	40	6.6%	12	6.3%	25	6.4%	3	13.0%
合計	603		189		391		23	

赤数字 鎌倉市全体の割合よりも多い

年代別にみると「大いに感じる」と回答したのは 60 代のシニアが最も多く、次いで 80 代となっています。「少し感じる」と回答したのは 70 代のシニアが最も多く、次いで 60 代です。「全く感じない」と回答したのは 90 代以上のシニアが最も多く、次いで 60 代となりました。「全く感じない」と回答した 60 代と 90 代以上のシニアの全員が、問 2 の「困りごと」についての質問で「ない」と回答したことは、問 2 と問 6 の相関関係を考えるうえで興味深いことです。

「全く感じない」を選択したシニアが最も少なかったのは 70 代で、70 代のシニアが特に対人関係でなんらかの「もどかしさ」を感じていると思われます(表 20)。

表20:【問6】 年代別

			60代		70代		80代		90代以上		無回答	
大いに感じる	197	32.7%	28	36.4%	82	32.5%	74	33.5%	13	26.0%	0	0.0%
少し感じる	246	40.8%	32	41.6%	117	46.4%	78	35.3%	18	36.0%	1	33.3%
あまり感じない	93	15.3%	9	11.7%	35.5	14.1%	35	15.8%	13	26.0%	0	0.0%
全く感じない	28	4.6%	6	7.8%	5.5	2.2%	12	5.4%	4	8.0%	0	0.0%
無回答	40	6.6%	2	2.6%	12	4.8%	22	10.0%	2	4.0%	2	66.7%
合計	603		77		252		221		50		3	

赤数字 鎌倉市全体の割合よりも多い

次に、表 21 を用いて問 2 と問 6 の相関関係についての分析を試みてみます。

問 2 の「新型コロナウイルスの感染拡大が続く今、あなたのくらしで困りごとはありま

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

すか？」という質問に「ある」と回答したシニアで、問６の人とのかかわり方にもどかしさを「大いに感じる」と回答したのは 40.7%で、鎌倉市全体の割合である 32.7%よりも 8.0 ポイント高く、「少し感じる」と回答したのは 43.5%で鎌倉市全体の割合(40.8%)よりも 2.7 ポイント高くなりました。反対に、問２で困りごとが「ない」と回答し、問６で「あまり感じない」と回答したシニアは 32.2%で鎌倉市全体の 15.3%の倍以上高く、「全く感じない」と回答したシニアも 14.3%と鎌倉市全体の 4.6%の 3 倍以上高くなりました。このことから、問２のくらしの中の「困りごと」と問６の人との関わりかたの「もどかしさ」との間に相関関係があることがわかります。

表21：
問2 X 問6　クロス分析

		鎌倉市全体 n=603		問2 ある 430		ない 157		無回答 16	
問6	大いに感じる	197	32.7%	175	40.7%	18	11.5%	4	25.0%
	少し感じる	246	40.8%	187	43.5%	52	33.1%	7	43.8%
	あまり感じない	93	15.3%	40	9.3%	51	32.2%	2	12.5%
	全く感じない	28	4.6%	5	1.2%	23	14.3%	0	0.0%
	無回答	40	6.6%	23	5.3%	14	8.9%	3	18.8%

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

問２で、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、７割強のシニアが外出自粛など日常生活にさまざまな制限を「困りごと」として感じ、なかでも「対人関連」の項目がシニアから最も多く選択されていることから、感染症拡大防止のため日常の対人関係が阻害されていることを「困りごと」と感じていることがわかります(グラフ 6, p.14)。

また、問８の自由記述では、「コロナ前のデイサービスは皆でゲームをしたりお話をしたりとても楽しかったのですが、コロナの為、人との距離が遠くなってお話もできなくなって雰囲気がすっかり変わってしまって残念です」とコロナ感染症拡大防止のためにデイサービスに行くことができなくなったことを嘆く 90 代以上の女性のコメントや「自由に自然にいつでもどんな所でも、どんな方とも親しく暖かく人間関係が築けていた毎日の生活が簡単になくなり、喜びも悲しみも人と人との関係から生まれるものだと強く感じています」(70 代女性)「人が他の人と交流することがなければ、人間ではなくなる」(70 代女性)と、人間にとっての対人関係の大切さを訴えるコメントが多く見られ、コロナ禍前とは異なる現在の日常生活の中で、多くのシニアが人との関わり方にもどかしさを感じていることを知ることができました。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問7】 新しい生活様式の中で、お住まいの地域の人と関わる活動に参加してみたいですか？

（いずれかを〇で囲んでください。）　a. はい　b. いいえ

「はい」とお答えの方、次の活動で関心のあるものはありますか？（複数回答可）

自治町内会活動・近所の団らん・サークル活動・老人クラブ・サロン活動・子育て支援・ボランティア活動・寄付募金活動・イベント（　　）・ほか（　　）

※ イベントの例：まつり、バザーなど

「いいえ」とお答えの方、その理由をお聞かせください。(一つお選びください)

a. お住まいの地域以外で活動 ・ b. 感染症のリスク ・ c. その他（　　）

1. 設問の意図

「新しい生活様式の中で、お住まいの地域の人と関わる活動に参加してみたいですか」という質問は、作業仮説⑤「この『もどかしい』という葛藤の感覚は、高齢者が主体的に地域活動に参加する動機となり得る。」を確認するための設問です。この質問では、もどかしさを問う問６との関連を強調するため、問６で「大いに感じる」「少し感じる」「あまり感じない」を選択したシニアに限り回答することとしましたが、実際には、「全く感じない」を選択したシニアが回答するケースも見られました。

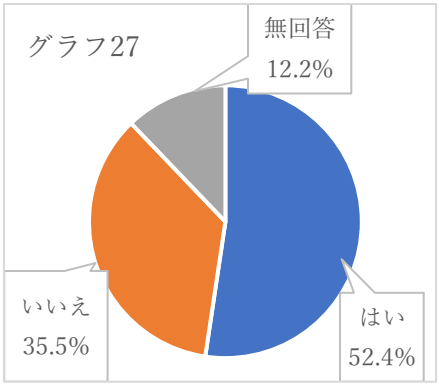
「『はい』とお答えの方、次の活動で関心のあるものはありますか」も作業仮説⑤を確認する設問ですが、地域の人と関わる活動に参加したいと答えたシニアに、具体的にどのような活動に参加してみたいのかを尋ねました（複数選択法）。

「『いいえ』とお答えの方、その理由をお聞かせください」は、地域の人と関わる活動に参加したくないと回答したシニアに、その理由を尋ねました。

2. 「新しい生活様式の中で、お住まいの地域の人と関わる活動に参加してみたいですか」の回答結果

この質問は、問６で「大いに感じる」「少し感じる」「あまり感じない」[*6]を選択したシニア(536 票)が回答することとしていたが、実際には「全く感じない」[*6]「無回答」のシニアもこの質問に回答したケースもあり、回答総数は 592 票となりました。

回答全体では、「はい」52.4% (310 票)、「いいえ」35.5% (210 票)、無回答 12.2% (72 票)となりまし

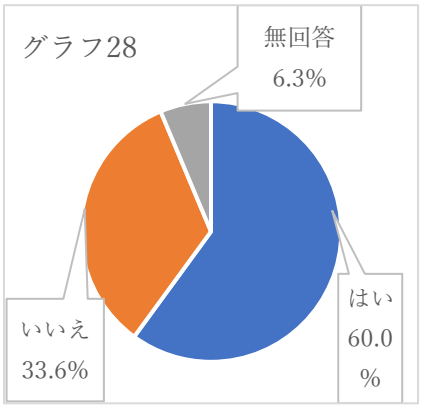


社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

た（グラフ 27)。

＊6)問 6 で「あまり感じない」と「全く感じない」の両方を選択したシニアが 1 名については、「あまり感じない」「全く感じない」の双方に 0.5 票を加算しました。

また、問 6 との相関関係をより明確にするため、問 6 で「大いに感じる」「少し感じる」を選択したシニアに絞ると、回答総数は 443 票で「はい」と回答したのは 60.0%（266 票)、「いいえ」と回答したのは 33.6%（149 票)、無回答は 6.3%（28 票)となり、人との関わり方に「もどかしさ」を感じたと回答したシニアの 6 割が、地域の人と関わる活動に参加してみたいと回答した結果となりました。（グラフ 28）



3. 「新しい生活様式の中で、お住まいの地域の人と関わる活動に参加してみたいですか」の分析

性別では、地域の人と関わる活動について「はい」と回答した女性は 53.5%で男性とくらべて 2.7 ポイント高くなりました(表 22)。一方、「いいえ」と回答した男性は 40.1%、女性は 33.5%で男性のほうが 6.6 ポイントも高くなりました。この結果から女性のほうが地域活動に関心が高いことがうかがえます。

表22：【問7】質問①　はい/いいえ　性別

	鎌倉市全体		男性		女性		無回答	
はい	310	52.4%	95	50.8%	206	53.5%	10	45.5%
いいえ	210	35.5%	75	40.1%	129	33.5%	7	31.8%
無回答	72	12.2%	17	9.1%	50	13.0%	5	22.7%
合計	592		186		384		22	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

年代別では、「はい」と回答したシニアは 70 代で最も多く(58.4%、146 票/250 票)、次いで 80 代(50.0%、109 票/218 票)、60 代(49.3%、36 票/73 票)となり、90 代以上では 39.6%(19 票)/48 票)と割合が少なくなりました。一方、「いいえ」と回答したシニアは、90 代以上が最も多く(58.3%、19 票/48 票)、次いで 60 代(43.8%、32 票/73 票)となり、70 代(31.2%、78 票/250 票)と 80 代(32.6%、71 票/218 票)は少ない結果となりました。このことから、70 代・80 代のシニアが地域の人と関わる活動により関心を持っていることがわかります(表 23)。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

表23：【問7】質問①　はい/いいえ　年代別

	鎌倉市全体		60代		70代		80代		90代以上		無回答	
はい	310	52.4%	36	49.3%	146	58.4%	109	50.0%	19	39.6%	0	0.0%
いいえ	210	35.5%	32	43.8%	78	31.2%	71	32.6%	28	58.3%	1	33.3%
無回答	72	12.2%	5	6.8%	26	10.4%	38	17.4%	1	2.1%	2	66.7%
合計	592		73		250		218		48		3	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

また、表 24 が示すように、問 6 でもどかしさを「大いに感じる」と回答したシニアの 68.5%が問 7 の地域の人と関わる活動に参加したいと回答し最も高い割合となりました。次いで「少し感じる」が 53.3%、「あまり感じない」は 40.2%となり、「全く感じない」が 25.0%で最低となりました。このことから、問 6 と問 7 の質問①との間には人との関わり方に「もどかしさ」を感じれば感じるほど、地域の人と関わる活動に参加したいという相関関係があることがわかり、作業仮説⑤を確認することができました。

表24
【問6】X【問7】クロス

		問7 はい	いいえ	無回答	合計
問6	大いに感じる	135	53	9	197
		68.5%	26.9%	4.6%	
	少し感じる	131	96	19	246
		53.3%	39.0%	7.7%	
	あまり感じない	37	50.5	5	92.5
		40.2%	54.3%	5.4%	
	全く感じない	4	7.5	5	16.5
		25.0%	43.8%	31.3%	
	無回答	3	3	34	40
		7.5%	7.5%	85.0%	
	合計	310	210	72	592

※　票数の端数(0.5)については、＊6の注を参照のこと

4. 「『はい』とお答えの方、次の活動で関心のあるものはありますか」の回答結果

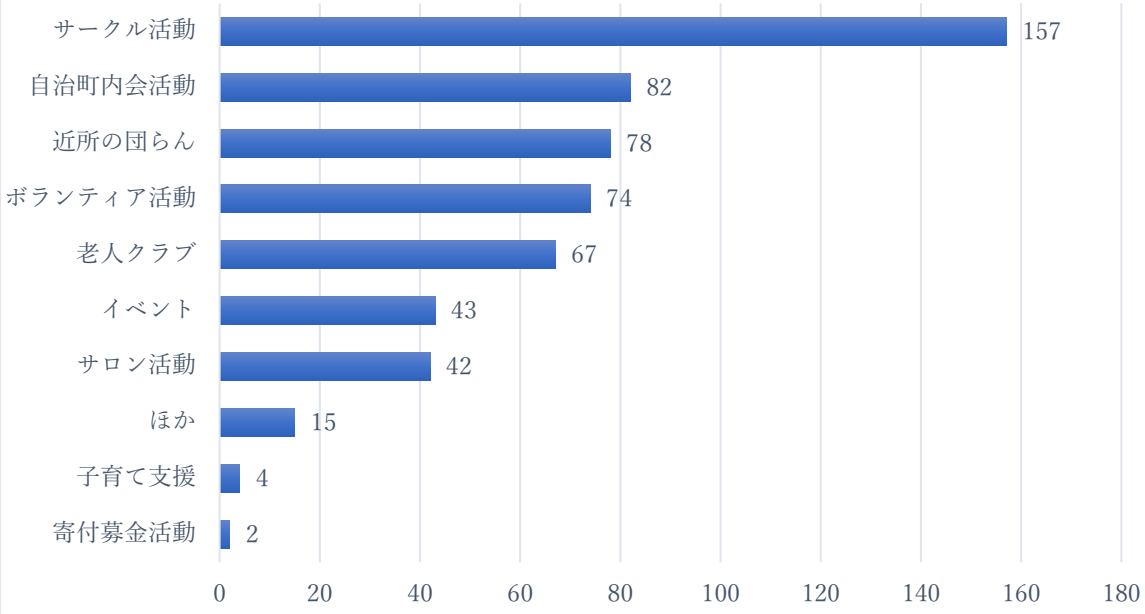
地域の人と関わる活動に参加したいと回答したシニアが、具体的に参加したい活動として選択した項目をグラフ 29 で示します。地域活動の中で、最も多く選択されたのはサークル活動(157 票)で、次いで自治町内会活動(82 票)、近所の団らん(78 票)、ボランティア活動(74 表)、老人クラブ（67 票）の順となりました。イベント(43 票)の具体的な内容についてはさまざまな記述がありましたが、「まつり」が最も多く 8 票あり

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

ました。「ほか」では、「学会会議」「デイサービス」「元気 up 体操」「月一回公園掃除」「グランドゴルフ」「合唱」などの記述がありました。

この質問に対する回答は、アンケートを実施した地域による違いが比較的顕著に表れました。生活支援コーディネーターとしてはアンケートを実施した地域ごとに回答内容を分析し、地域の特性にあった、きめの細かい活動支援を実施していく予定です。

グラフ29



5. 「『はい』とお答えの方、次の活動で関心のあるものはありますか」の分析

性別でみると、女性は「サークル活動」「近所の団らん」「老人クラブ」「サロン活動」「子育て支援」「寄付募金活動」を選択した割合が鎌倉市全体よりも高く、男性は「自治町内会活動」「イベント」「ほか」を選択した割合が高い結果となりました(表 25)。

年代別でみると、60 代のシニアは「自治町内会活動」「ボランティア活動」「ほか」「子育て支援」を選択した割合が鎌倉市全体よりも高く、70 代では鎌倉市全体の割合よりも高くなった項目が最も多く「老人クラブ」「ほか」以外の項目で割合が高くなりました。

80 代になると「老人クラブ」「イベント」「サロン活動」「ほか」で鎌倉市全体の割合よりも高く、90 代以上では「老人クラブ」だけが鎌倉市全体の割合よりも高くなりました(表 26)。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

表25：【問7】質問②　性別

	鎌倉市全体		男性		女性		無回答	
サークル活動	157	27.8%	43	23.1%	107	27.9%	7	31.8%
自治町内会活動	82	14.5%	30	16.1%	50	13.0%	2	9.1%
近所の団らん	78	13.8%	15	7.8%	61	15.8%	3	13.6%
ボランティア活動	74	13.1%	24	12.9%	49	12.8%	1	4.5%
老人クラブ	67	11.9%	15	8.1%	46	12.0%	6	27.3%
イベント	43	7.6%	17	9.1%	22	5.7%	4	18.2%
サロン活動	42	7.4%	10	5.4%	31	8.1%	1	4.5%
ほか	15	2.7%	5	2.7%	9	2.3%	1	4.5%
子育て支援	4	0.7%	1	0.5%	3	0.8%	0	0.0%
寄付募金活動	2	0.4%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%
合計	603		189		391		23	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

表26：【問7】質問②　年代別

	鎌倉市全体		60代		70代		80代		90代以上		無回答	
サークル活動	157	27.8%	15	20.5%	74	29.6%	60	27.5%	8	16.7%	0	0.0%
自治町内会活動	82	14.5%	16	21.9%	38	15.2%	25	11.5%	3	6.3%	0	0.0%
近所の団らん	78	13.8%	7	9.6%	41	16.4%	24	11.0%	5	10.4%	1	33.3%
ボランティア活動	74	13.1%	19	26.0%	41	16.4%	13	6.0%	1	2.1%	0	0.0%
老人クラブ	67	11.9%	1	1.4%	27	10.8%	32	14.7%	6	12.5%	1	33.3%
イベント	43	7.6%	1	1.4%	24	9.6%	17	7.8%	1	2.1%	0	0.0%
サロン活動	42	7.4%	3	4.1%	19	7.6%	17	7.8%	3	6.3%	0	0.0%
ほか	15	2.7%	3	4.1%	4	1.6%	8	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
子育て支援	4	0.7%	1	1.4%	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
寄付募金活動	2	0.4%	1	1.4%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	603		67		272		196		27		2	

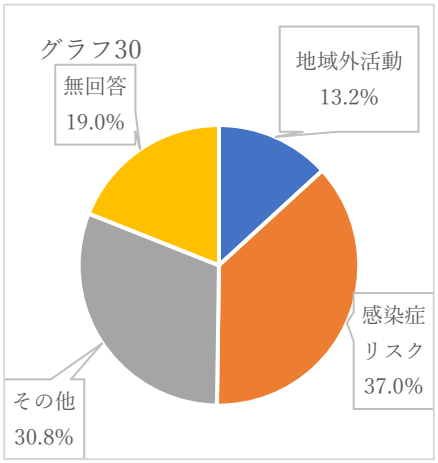
赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

6. 「『いいえ』とお答えの方、その理由をお聞かせください」の回答結果

地域の人と関わる活動に参加したいかの問いに「いいえ」と回答したシニアにその理由を尋ねたところ、地域外で活動していると回答したシニアが 28.5 票*7(13.2%)、感染症のリスクが 80 票(37.0%)、その他が 66.5 票*7(30.8%)となり(グラフ 30)、「新しい生活様式」の中でも新型コロナウイルス感染症を恐れ、地域の活動に参加することを躊躇するシニアが多いことがわかりました。

「その他」では、自分自身が高齢になったことや自分や家族の病気・身体の不自由・家族の介護を「いいえ」の理由として記述するシニアが多くなりました。



＊7) ＊6 の注を参照してください。

7. 「『いいえ』とお答えの方、その理由をお聞かせください」の分析

性別では、「感染症のリスク」を選択した男性は 44.2%で女性の 32.8%よりも 11 ポイント以上多くなりました。女性は「地域以外での活動」「その他」が鎌倉市全体の割合よりも多くなりました(表 27)。

表27:【問7】質問③　性別

	鎌倉市全体		男性		女性		無回答	
地域外活動	29	13.2%	10	13.0%	19	14.1%	0	0.0%
感染症リスク	80	37.0%	34	44.2%	43	32.8%	3	37.5%
その他	67	30.8%	21	27.3%	44	33.2%	2	25.0%
無回答	41	19.0%	12	15.6%	26	19.8%	3	37.5%
合計	216		77		131		8	

赤数字　鎌倉市全体の割合よりも多い

年代別では、「地域外の活動」を選択したシニアは 60 代と 70 代で多く、「感染症のリスク」は、60 代と 80 代で多くなりました(表 23)。90 代以上のシニアでは、「感染症のリスク」よりも「その他」が多く、前述の「その他」の記述にある高齢や身体の不自由、病気や介護が地域の人と関わる活動への参加を妨げる大きな要因になっていると考えられます(表 28)。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

表28 【問7】質問③ 年代別

	鎌倉市全体		60代		70代		80代		90代以上		無回答	
地域外活動	29	13.2%	7	21.9%	14.5	18.1%	6	8.2%	1	3.4%	0	0.0%
感染症リスク	80	37.0%	12	37.5%	28.5	35.6%	30.5	41.8%	9	31.0%	0	0.0%
その他	67	30.8%	10	31.3%	20	25.0%	23.5	32.2%	13	44.8%	0	0.0%
無回答	41	19.0%	3	9.4%	17	21.3%	13	17.8%	6	20.7%	2	100.0%
合計	216		32		80		73		29		2	

赤数字 鎌倉市全体の割合よりも多い

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問 8】このコロナ禍で感じたこと考えたことを自由にお書きください。

1. 設問の意図

この質問は、アンケートの最後に、アンケートに回答いただいたシニアの想いを聴くための設問です。

2. 回答結果

鎌倉市全体で 268 票に記述回答があり、回答率は 44.4%でした。

記述回答文の一つひとつを読むと、鎌倉市内のシニアがコロナ禍の最中で戸惑いながらも、さまざまな想いを抱いてくらしている姿に思いをはせることができました。

※　記述回答文の全文を、巻末の「記述文集」に掲載しています。

3. 記述内容

この質問は自由記述を求めるものであったため、回答文の内容はさまざまでしたが、全記述回答文を表 29 に挙げたキーワードで検索すると、「生活」が最も多い結果となりました。このことは、感染症拡大防止のための生活の変化や新しい生活様式についてのコメントが多かったことによると思います。次に新型コロナウイルスそのものである「コロナ」についてのコメントが多く、「自由・不自由」は、外出自粛や密閉、密集、密接(いわゆる三つの密)を避ける生活様式など生活上の自由が制限されたことに対するコメントです。感染症予防対策のため多くの人が外出中に着用するようになった「マスク」についてのコメントも多くなりました。

少数ではありますが、「騒ぎ・騒ぎすぎ」についてのコメントが 4 票あり、テレビや新聞で連日のように新型コロナウイルス感染症患者の増加が大きく報道され、政府や地方自治体が感染症拡大防止のために自粛や制限の措置をとることは、少し騒ぎすぎではないかと感じているシニアのコメントもありました。一方、「死」についてのコメントも 4 票あり「死を身近に感じるようになりました」という 70 代男性のコメントもありました。

表29 【問8】　記述分析

キーワード	
生活	41
コロナ	40
自由・不自由	24
マスク	22
外出	16
子ども・孫	14
ワクチン	9
社会	8
日本・日本人	7
仕事	6
予防	5
薬	4
騒ぎ・騒ぎすぎ	4
死	4
全記述票数	268

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

まとめ（あとがきにかえて）

昨年(令和 2 年)4 月 7 日に発出された初めての新型コロナ感染症緊急事態宣言が、5 月 27 日に宣言が解除され、さまざまな地域福祉活動で再開の動きがみられました。しかし、年末年始にかけて新規感染者が急増したことを受け、今年(令和 3 年)1 月 7 日に再度の緊急事態宣言が発出され、多くの活動が休止を余儀なくされています。このような状況において、わたしたちは、地域で人との関わりあいをいかにして維持し、育んでいくかという課題に直面しています。

なによりもまず重要なことは、感染症対策の徹底と予防です。今回の新型コロナウイルス感染症は、特に高齢者での重症化率が高いといわれています。シニアの方に感染症をうつさないこと、かからないように予防することが肝心です。そのうえで、シニアの方々が、近所の身近な人との関わりをもてるようにしていくことはできないでしょうか。もちろん、スマホやパソコンなどのデジタルデバイスを用いたリモートでのコミュニケーションは便利で、感染症予防には大変有効な手段です。これでこと足りるような他者とのコミュニケーションも多いでしょう。しかし、今回のアンケートで見てきたように、感染症の恐れから人と人との関わりが難しくなっているときにこそ、人と人とが直接会って会話をする対面のコミュニケーションの大切さが、改めて見直されるのではないでしょうか。

現在の鎌倉市の生活支援体制整備事業は鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄という 5 つの行政区を日常生活圏域とした体制で実施されています。コロナ以前の平時であれば、元気なシニアは当然のように電車やバス、モノレールに乗って移動して、自分が参加したいサークルやサロンに自由に参加することができたので、今の圏域設定で問題となることはありませんでした。しかし、コロナ後は感染症のリスクを回避するために、シニアの方々が公共交通機関を利用せずに徒歩で移動できる範囲の圏域設定が必要になると思います。

現在、国では、高齢者のみならず、障害者、子ども、生活困窮者など生活上の困難を抱える方が地域において自立した生活が送ることができるよう、地域の多様な主体が我が事として参加し、世代や分野を超えて地域が丸ごとつながる「地域共生社会」の実現を目指しています。これからのコロナ後の地域において、地域共生社会を創っていくためには、たとえば小学校区のようなより小さな範囲を日常生活圏域として協議体[*8] を運営し、そのなかで元気なシニアが中心となって人と人との関わりを育み、維持していくことを検討していくのはいかがでしょうか。もちろん、鎌倉市では今までの地域福祉を支えてきた、たとえば地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員協議会の担当区域と市立小学校の校区は異なり、実現するためには行政をはじめとする様々な関係機関・関係者間の協議や調整が必要になるでしょう。しかし、このような取り組みを一つひとつ進めていくことこそが、感染症の蔓

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

延を含む様々な災害に対しても強い、豊かな「まち」を創っていくための糸口となるのではないでしょうか。

鎌倉市の令和 2(2020)年 9 月末現在の 60 歳以上の人口は 63,839 人（鎌倉市ホームページ記載のデータより計算）です。今回のアンケートはその 1%にも満たないシニアの方々に答えていただいたに過ぎません。また、標本抽出のやり方も無作為抽出法などの厳密な確率標本集出法をとらず、機縁法としたため、集計した数値の代表性は低く、鎌倉市のシニアの量的傾向を正確に映し出すものではありません。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大という今までわたしたちが経験したことのない未曽有の事態の中、それも、初回の緊急事態宣言と 2 回目の緊急事態宣言の合間の時期に、603 名ものシニアの方々のくらしや気持ち、想いに、アンケートを介してではありますが、耳を傾けることができたことは極めて貴重なことでした。改めて、アンケートに答えていただいたシニアの方々、アンケートの実施に協力いただいた方々に心より感謝を申し上げます。

わたしたち生活支援コーディネーターは、このアンケートの結果をふまえ、シニアの方々とともに、だれもが生きがいをもち、ともに支えあい、心ふれあう豊かな地域社会を創っていく決意を新たにして、この報告を終えます。

＊8) 協議体： 市町村が主体となり、各地域におけるコーディネーターと生活支援・介護予防サービスの提供主体等が参画し、定期的な情報共有及び連携強化の場として、中核となるネットワークを「協議体」とする。
(厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドライン」)

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

記 述 文 集

＊　記述文は順不同です。(乱数処理をしました。)
＊　記述文はできるだけ原文を尊重しましたが、
　　読みやすくするため若干手を加えました。

【問４】 コロナ禍の収束が見えない中で、これからのくらしで不安に感じることはありますか？
「ない」とお答えの方、その理由をお聞かせください。

1　特に生活が変わらないから、ずっとうちにいる。
2　密だけは気をつけています
3　日常生活に不満がない
4　特に変化ないため
5　いつか終息と信じていますから
6　足の痛みで元々外には出ません
7　生活の変化なし
8　人生には不安はつきものだから
9　人間生きるか死ぬか二つに一つにて
10　常日頃の行動範囲が西鎌倉住宅です
11　遠距離に出かけられない
12　今までの生活と現在の生活を比較しても不便を感じたことがない
13　外にあまり出ない
14　仲間との会合ができないが通信機会があるから
15　コロナ前から身のまわりのことに気をつけている
16　特になし、慣れました
17　自分で思うことをやっている。
18　自分自身の衛生面と健康管理に注意していきたいと思います。
19　家の中でできる趣味を持っている
20　気にしなければよい
21　十分気を付けている。
22　変わらない日常が暮らせている
23　精神的にまいりましたが、俳句を作ったり、句集を読んだり、ミシンを出したり・・・・
24　殆ど外出もせず不便不安を感ずる事が余り無い
25　①定収入がある②スーパーが近い③周りの住人が昔から変わらない
26　外出を近場のみとして、県外には出ていない
27　日頃よりデイサービス以外、外出しない為
28　与えられた環境の中を素直に生きる
29　普段と同じだから
30　いつも同じ毎日で家から出ない
31　長く生きて思い残す事ない

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

32　必要外の人と接触しないとしているので感染の心配はない。
心配しすぎてもしかたない。自分に体力をつける様に食べている。
地域での仕事がいきがいになっている。
33　ほとんど外出しない。だいぶ以前から。
34　離れて暮らす家族との交流
35　健康面、対人関係、主人の仕事変わらず出社しています。コロナ前と変わりません。
36　不安はないが、マスクだけが煩わしいが、生活面等特に感じない。
老人ホーム入居の母との面会が少ない。
37　独居老人で今まで通りの生活を続けていくことができると思っている。
38　自分には関係ないと思っている。
39　普段通りの生活をしているので
40　規則正しく生活したいと考えている。
41　一日中外出することが出来ず買い物も思った品が買えない
42　いつもとかわらず生活をしています
43　従来と変わらない生活を送っている

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問５】コロナ禍が終息したら何をされたいですか？
　　または、今、我慢していることがあれば教えてください。

1　外におもいっきり出て、買い物にも行きたいです。
2　特別に今の生活に満足していますので有りません
3　旅行、親せきが地方にあるので訪問したい
4　知人、友人招待
5　家族の交流
6　ヒップホップ、ダンス、カラオケ
7　旅行　スポーツジム
8　カラオケ
9　旅行、会食
10　旅行
11　マスクをはずす事
12　旅行、GO TO 自粛
13　会食、飲食、音楽会、映画鑑賞などの娯楽
14　コンサート、買い物、友人達と会う
15　ストレッチ等、体を動かしたい。
16　コーラスを再開したい。
17　旅行
18　外出をひかえている
19　離れて住んでいる子供や孫とひんぱんに会いたい。旅行に行きたい。
20　温泉旅行したい
21　旅行
22　仕事を再開したい。(海外での仕事)
23　俳画の教室を再開したい
24　外出
25　旅行
26　旅行
27　孫に会う
28　講座（市の取り組み）
29　旅行でコロナ感染を考えなく安心して旅ができること
30　人の接触を十分にしたい。
31　知人との外出・会食
32　趣味
33　外に出られない事
34　コロナの予防薬ができるまで安心して生活を送れない。
35　兄・姉がホームに入居しています。面会が出来ない事。
36　旅行　トレッキング
37　旅行
38　旅行　外食　友人との会合
39　旅行、友人との会食
40　外食
41　旅行・コンサート
42　電車に乗る
43　旅行
44　特にありませんが、元の生活にもどりたい。
45　会合にでたい
46　自由に人と会うことができない
47　特になし
48　友達との集まり、遠くへの外出
49　旅行
50　外国住まいの娘に会いたい
51　つどい・旅行・会食
52　旅行、ショッピング、都内に出かけたい。
53　旅、船旅
54　旅行、サークル活動

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

55　なし
56　家族との関わり
57　サークル、介護サービス
58　なし
59　なし
60　旅行
61　海外旅行
62　旅行
63　人との関わり、外出
64　旅行　孫との再会
65　今まで定期的に集まっていた友人との会合
66　旅行に行きたい
67　旅行、散歩
68　外出、旅行
69　旅行
70　旅行
71　旅行
72　カメラを持って野鳥撮り
73　海外旅行
74　友人との食事会など堂々としたい
75　自由に出かけられない
76　友人と語らう
77　旅行、親の所にでかけたい
78　自由に外食、外出、旅行等
79　友人と食事、旅行、帰省をしたい。
80　友人との会食会を思い切り楽しみたい。
81　特になし
82　旅行、友達との会食等
83　スポーツを再開したい。友人とゆっくり会いたい。
84　特にありません
85　プールで水泳
86　旅行、地域活動
87　特になし
88　郷里に帰ってきたいです。
89　旅行
90　各種会合の復活、飲み会等
91　友達との会食又は tea time、同窓会など
92　旅行や温泉に行きたい
93　仲間との一杯
94　運動不足の解消
95　旅や芸術鑑賞は生で楽しみたい。
96　なし
97　旅行
98　コンサート、サークル活動、イベント
99　定期的に行っていた友人を招いての食事会を久々に再開したい。
100　友人と楽しく会話をし、食事が出来れば・・・と思います。
101　旅行、友人との会合、食事
102　人とのつきあい、飲み会
103　旅行・友人達との会合、Shopping、家族との会合!!
104　ナシ
105　旅行、外食
106　友達、兄妹に遠くにいるから会いたい
107　旅行
108　家族との交流
109　旅行、家族全員での食事会
110　旅行等
111　旅行
112　旅行・飲み会
113　買い物に出たい
114　所属するＮＰＯ活動の再開/友人知人との再開・コミュニケーション交流
115　人との交流
116　趣味、運動、旅行
117　仲間との交友
118　友人との旅行、食事会

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

119　外出
120　友人とのお茶のみ
121　旅行
122　旅行、散歩
123　旅行、外食
124　体力維持、娯楽、旅行
125　人に会うことが出来ないし、旅行に出かけることができない。
126　色々なところへ出かけたい
127　自由に街に出たい
128　今までの生活、マスクなしの生活、孫に会いたい
129　お散歩
130　旅行をしたい
131　旅行、地域の行事等を始めたい。
132　旅行
133　特になし
134　ウォーク、旅行
135　旅行
136　旅行・飲み会・パチンコ
137　ドライブに行きたい。日々散歩がしたい。
138　旅行
139　旅行、友人との会食
140　旅行
141　県外へ出てみたい
142　平常な生活と旅行がしたい
143　買い物、散歩
144　なし
145　旅行
146　旅行
147　旅行
148　元気な内に旅行をしてみたい（昔いった所）
149　旅行、サークル
150　旅行
151　電車で横浜に行きたい。
152　友達づきあい
153　車で東北地方（特に宮城県内）に旅行する
154　旅行、スキー
155　現在より外出したいです
156　外出　旅行
157　特に無い
158　食事
159　軽い登山、ハイキング、温泉旅行など
160　散歩、運動
161　旅行。美術鑑賞
162　会食
163　旅行、デパート
164　会食、旅行
165　好きなところに旅行したい
166　旅行、外食
167　友達とゆっくりおしゃべりしたい（会食を含め）
168　人に会う
169　旅行に行きたい
170　旅行
171　旅行
172　会食、旅行
173　友人・家族との会食、旅行
174　昨年までの平常な生活
175　友人との交流、旅行、美容院で髪カット、通院
176　東京に住む友人・知人達との交流
177　会食、旅行
178　外出等
179　旅行　県内は箱根　県外は伊豆・山梨・長野に行きたい
180　旅行・カラオケ
181　旅行

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

182　安心して外出（旅行、食事等）したい。
183　姉妹のところを訪ねたい
184　思いっきり買い物、散歩
185　外出して料理を食べたい。
186　旅行　飲み会
187　小旅行
188　今までしていた老人ホーム等へのボランティア活動
189　旅行にいきたい
190　親しい友人との再会
191　家族、友人との交流、旅行、外食
192　介護サービスの再開
193　買物
194　芸術鑑賞、旅行、会食
195　旅行
196　旅行（海外）
197　友達と会う
198　お付き合い
199　お友達とおしゃべりしたり食事をしたり
200　旅行
201　友達と会食、団らん、旅行
202　旅行などしたいです。友達と食事等・・・
203　旅行　会食　等
204　今、休会になっているコーラスが早く再開されると良いと思います
205　旅行、イベント参加にキカク
206　デパートへ行く
207　ライブ活動をしたい。
208　人づきあい、旅行
209　旅行、観劇、故郷に墓参
210　会食　旅行
211　旅行
212　以前の普通の生活
213　旅行
214　旅行
215　東京への買い物、旅行、コンサート、外食
216　友人との会食、旅行
217　旅行、会談会食、同窓会
218　友人に会いに行く事をひかえている
219　友人とお茶会
220　散歩・運動・旅行
221　永年楽しんで来たコーラス。水彩画のサークルへの参加。
222　旅行
223　自由に電車に乗って、美術館等に行きたい
224　孫との交流
225　自由に旅行したい
226　旅行　外食
227　旅行、友人と会う事
228　カラオケ　旅行
229　旅行
230　①友達とおしゃべりしたい
②映画　③コンサート
231　カラオケ、居酒屋
232　旅行、芸術鑑賞、友人と会うこと
233　がまんをしていることはない
234　自由気儘な旅行
235　旅行、食事会
236　大きな声で歌を歌いたい。友達との旅行・会食
237　旅行　友人（親族）との会合
238　子供達との会食、旅行、他県の友達と会う事
239　娘たちを訪問したい。
240　友人知人との会食
241　ショッピング

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

242　ホームに入っている母に会いに行きたい
243　旅行
244　友達と会いたい
245　旅行
246　撮影旅行（カメラマン）
247　遠出をして気分転換
美味しいものを食べて一時の楽しさ
密を　マスク　旅行
248　旅行がしたい
249　今までどおりの生活
250　トニカク、家の整理に帰りたい。
田舎へ
251　旅行、朗読会
252　リハスタに週２回行っており満足している。職員対応よい。いきがい
253　安心して外出したい。
254　海外旅行
255　今までの生き方を皆で考えることが必要。当たり前でない世の中になって、己を強く、他人に優しくが第一と思った。
256　旅行、食事会
257　旅行（海外)、コーラス
258　特にない、なんとなく不安
259　友人との面談
260　友達との会食
261　コロナ禍で、自粛で気分がなえた。
262　人前で朗読ができなくなった
263　お友達と美味しいお食事会
264　旅行
265　長く続くと思うので、今のところ考えられない
266　老人会の集まり、グランドゴルフ
267　人間関係、ゲーム、サークル等
268　友人との集まり、旅行
269　サークル活動
270　友人との会話
271　知人との会合
272　歌をみんなでうたいたい
273　旅行
274　旅行、友達と逢う、コンサート観賞
275　旅行や会食
276　特になし
277　旅行、友達との会合（食事会を含む）
278　映画鑑賞、墓参り（東京）
279　友人・知人との会食
280　マスクせずに人と会いたい
281　小旅行　芸術館めぐり
282　外出
283　旅行に行きたい
284　なし　現在の生活を継続する。
285　実家や妹の家には２、３日は泊まってきます。温泉行きたい。我慢はない。
286　他県への旅行
287　旅行
288　旅行に行きたい
289　なし
290　実家の母が１人暮らし。庭そうじ、など、片づけ
291　旅行
292　海外旅行
293　旅行
294　旅行したい
295　旅行
296　東京の博物館、美術館に行くこと。
遠方の親類訪問
297　旅行
298　旅行
299　友人との会食、音楽会
300　人との関わり
301　旅行　お墓参り（遠方なので）

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

302　マージャンが出来ていない
303　特になし
304　知人との交流・食事
305　旅行、友人との会食
306　旅行・孫との交流・サークル活動・ボランティア活動
307　外食・旅行
308　山あるき、博物館めぐり
309　旅行
310　友人を自宅に呼んで会食したい
311　旅行
312　会合会食
313　習いごと、友人達との交流、家族との外出
314　ない
315　マスクは早くはずしたい
316　社会活動
317　自由に旅行に行ったり、美術館、博物館、音楽会、後援会等に行きたい。
318　肉親との交流
319　旅行や友人との会食。ボランティアの再開。
320　仲間と会いたい
321　家族と会えない。マスク使用。(声がよく聞き取れない)
322　娘に会いに行く
323　外食
324　今のまま
325　旅行、会食
326　自由に訪問し合いたい
327　特になし
328　お友達と食事をしたい
329　旅行
330　旅行
331　足が弱っているので娘に頼っている　週2回は来てくれている（東京品川から）
332　芸術鑑賞・・・音楽会、美術館・博物館
333　飲み会、コーラス練習再開
334　子供や孫と食事をしたいです
335　数人での食事会
336　マスクを着用せずに自由に外出したいです
337　旅行
338　おしゃべり（お茶を飲みながら）
339　旅行　旧友との食事会
340　町興しプロジェクト、海外・国内旅行
341　旅行、食事会
342　旅行
343　友人との集い
344　友人と会食を申込んだが断られそれを実行したい
345　旅行
346　マスクをつけてコーラスをしていること
347　10年パスポート更新しましたので海外へ出かけたいです
348　旅行
349　旅行
350　旅行
351　知人との会食
352　旅行
353　旧友や家族と楽しい食事会を行いたい。
354　他者との会話、カラオケ、外出したい！
355　自由に出かけて趣味や旅行等始めたいです。
356　音楽鑑賞

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

357　なし
358　病院通い
359　仲間との話し合い！
360　特になし
361　思いきり人と話をしたい
362　友人と会食したい。
363　旅行、飲み会、カラオケ
364　なし
365　旅行
366　山登り、友人との会食
367　特にありません
368　友人に会う
369　人との接触
370　旅行
371　国内・国外いろいろな所にマスクなしで旅行に行きたい！
372　友達仲間と会食
373　遠方への旅行、都内の知人と会談
374　外食（外出）
375　カラオケに行きたい。旅行
376　外出、食事
377　地方との交流をしたい
378　海外旅行
379　旅行、飲み会
380　会食
381　旅行、友達の食事会
382　熱海旅行　友人と二人で
383　会合、旅行
384　お出掛けしたい
385　活動（ボランティア）
386　特になし
387　外食がしたい
388　子供達に会いたい
389　旅行
390　友達、兄姉と食事や会話をしたい！
391　外出
392　旅行
393　旅行、友人との会食
394　美味しいもの食べに行きたい（法事も縮小したので）旅行
395　旅行。離れて暮らす親族に会うこと。
396　近所の方、親しい友人、地域の方々との親しい交際
397　3月に孫が産まれましたが、いまだに会う事が出来ていません。終息したら、すぐにも、実行したいと思っています。
398　旅行
399　会議会合・外食・近所づきあい
400　友達みんなでパーティー
401　姉妹との集まりを再開したいです。
402　友人・知人と会食、旅行
403　友人との集まり
404　旅行、山歩き
405　囲碁　ゴルフ
406　対話等、外食等
407　旅行
408　自由になりたい、ドライブ、散歩
409　コンサート・芝居・等
410　旅行　会食　老人ホームの親との面会
411　旅行、故郷
412　遠くにいる姉妹に会いたいです
413　旅行、人付き合い
414　旅行、合唱、コンサート
415　外出
416　旅行、家族交流
417　芸術鑑賞
418　外出、通院
419　友人との交流
420　カラオケの会に参加したい。
421　友達との会話と会食

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

422　実家が熊本であるためご両親のお墓参りに帰りたい。
423　マッサージ２時間コース
424　買い物
425　買物、病院への通院を自由に通いたい
426　旅行　会食
427　コンサート
428　旅行
429　遠くの友人との会食
430　旅行
431　旅行
432　友達との交流、飲み会
433　なし
434　特になし
435　孫の結婚式をあげる
436　友達と会いたい
437　子供たちの交流、友人との会話会食、外出（音楽会、美術館）
438　旅行
439　田舎に行きたい

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

【問８】　このコロナ禍で感じたこと考えたことを自由にお書きください。

1　神奈川県の情報発信が他の県とくらべて少ない。神奈川県は感染が東京についでワースト2なのに経済優先でどんな感染対策をしているのか情報がわからない。他県の様に感染者をへらす対策を考えてほしい。
2　見知らぬ人同士のギスギスした関係。例えば狭い中で友人と会話をしていたら「静かにしろ」と怒鳴られました。もっと穏やかに注意していただけたらと思います。友人のお見舞い、告別式等に行かれないことが非常に残念で悲しく思いました。
3　老若男女皆さん 3 密回避をしっかりやっている。PCR 検査等で政治の愚鈍・愚策に不甲斐ない
4　終息しないうちに GOTO を行ったり、制限をゆるめている理由が疑問
5　お弁当がおいしくて助かっている。今までのお弁当や助六弁当も今回のお弁当も２回にして食べている
6　自由に自然にいつでもどんな所でも、どんな方とも親しく暖かく人間関係が築けていた毎日の生活が簡単になくなり、喜びも悲しみも人と人との関係から生まれるものだと強く感じています。
7　あまり大勢のところには行かないように
8　身体がなまってしまう
9　基本的な 3 密を避け、手洗いや目などをさわらない、消毒をするなどを実行することを皆が徹底することが非常に有効であること。それが実行されれば、ある程度、普通の暮らしが可能であること。仕事の効率化はもっと可能。
10　うがい、手洗いをしていれば大丈夫だと考えます。
11　アンケートに記した様に、私はほぼ通常通りの生活を送っていますが、お友達や近所の方は高齢なこともありますが、思うように外出できずに、また人にも逢えないので、体、口数が衰えていくと言っています。
12　今まで当たり前に出来ていたことが出来なくなったが、それは、本当は無くてもよいものと気付いた。
13　生きる！生かされる！いいチャンス　すべての人間に好チャンス
　みんなちがって、みんなちがって　チャンス　チャンス！！
14　ＩＴ関連の知識・経験の必要性が高まるだろう
15　体が丈夫で家の中でもたのしく暮らせることのありがたさ！！
16　感染者数の発表があっても、鎌倉のどの方面、地域かの発表がないので行ったら駄目な所が判らないこと
17　密を避けるために巣ごもりとなり歩行が困難となった（老年のため）
18　マスク（むれる）

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

19　どう対処していいのか。分からないので、今のままの生活をするしか無いのでは、無いでしょうか。
20　早く終息したい！自由に出かけたい
21　経済的弱者に対する safety net の強化が必要。医療体制の強化。
22　大変な時代になった事。世界中にあっという間に広がった事。早く薬が出来ることを祈る。
23　これほど友達や家族と会えない生活を考えたことがありませんでした。早く終息すると良いと思います。
24　意識して体操・身体を動かす・日々のルーティンの大切さを感じました。友人・知人のその時の苦労を思い考え、気持ちに寄り添い、人とのかかわりを、もっと大切にしたいと思いました。（自分の未熟さを痛感し反省するばかりです。）
25　今までの普通の生活がいかに幸せだったのかと感じます。
26　現在は、旅行も外食もできるようになりましたが、あまり行く気が起こりません。
27　日本人の真面目さ
28　人が他の人と交流することがなければ、人間ではなくなる。行動に束縛があると自由が失われ心がしおれる
29　生活は変わらない。
30　コロナ前に戻ることが一番。そのためにみんなで今の努力を続けること。
31　外出が思うようにできないこと
32　自分で注意すること
33　◎すぐに検査ができないのでこんな禍になった。　◎国が悪い（自由党）
34　先ずは基本的健康管理に徹すること。自己管理を徹底することでしょう。
35　日常生活の中、他者との関係、会話等、身近な接触に不自由しています
36　そこまでの恐怖は感じないが、少し不便。
37　ウイルスはなくなりません。うまくやりすごせるよう前向きで
38　普通の有りがたさ
39　スティホームで肥満
40　先に、自分が何に気をつけるか、何が大切か、考えてから行動を進める事と！！考えた。
41　これをきっかけに価値観が変わった。この先どうなるのか心配
42　いつまで規制を続けているのか、いつ終息するのか、先が見えないことに対する経済の失速、社会不安が心配。マスクはいつまでしていればよいのか、わずらわしい。
43　今まで考えなかった消毒、密等に注意するようになった。　人とのきずなが大事と考えるようになった。
44　・東京の親せきに行く事に抵抗があり、高齢の兄姉の顔が見れない。
・リモートで会話できるが、やはり自然体で逢いたい。
・食事会が出来なかったり、習い事が自由に出来ず常に精神的にキープされている。
45　コロナ禍がいつまで続くのか　新しい型の各種犯罪

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

46　人と人との交わりが”コロナ禍”一つで危機に感ずる怖さ、虚しさ
47　地球全体で広域すぎて、いつ収束するかわからない。まだワクチンがなく誰でもかかる。将来この様なものを戦争の道具につかわれたら大変である。
48　日頃の生活を見直す機会となった
49　何もかもやる気を失ってしまいました。生活のリズムの変化に対応できていない。
50　生活が不自由になった
51　早く収束することを願う
52　新しい生活様式をふまえ、少しずつ慣れてきたのでは？と思います。インフルと同様に今後共存していくことになるのでしょう！
53　リモート〇〇は非常時にはとても便利でよいが、直接会って会話できることが、心の安定につながる気がする。
54　身内で祝いごとなど、集まれない事です。やはり人数が増えると感染の心配があります。
55　コロナ禍の原因である中国政府は人民に対し責任追及、非難の声が公、民（特にメディア）共に挙がらないことは極めて不自然、不合理に感じています。
56　特に経済困窮による社会不安が心配です。
57　①一日も早く新型コロナのワクチンが出来る事を願っています。　②出掛ける事出来ず庭仕事すれば虫にやられ皮膚科通い。　わからない収束で心が暗くなります。　いつになったら外出できるやら
58　感染しないように、自分なりに注意しなくては!!と、神経質になりました。
59　人の生活の中で自由に行動できることが心の豊さと実感しました。実際問題不自由で困りました。また行政の大切さも実感しました。今後起こり来る諸々の問題を予測、最善を尽くして欲しいと強く感じました。
60　今迄、自然になにげなく生活した毎日が、いかに大事かがわかりました。普通のことっていつもは感じませんが、とても素晴らしいことなんだと実感です。人とのつながりが無くなる事は、健康上でもいかに大切かを強く感じています。
61　なごやか（老人福祉センター）がボチボチ再開されてうれしい
最初２時間といわれ守っていたが、私のあそびは時間がかかり、２時間は無理、半日としてほしい
62　神経質になりすぎた。何事も楽しめなくなりました。
63　お弁当がおいしくてたすかります
64　楽しく大声で話が出来ないので少しさびしく感じました
65　予定していたあらゆる活動が中止になり、楽しみをうばわれました。こんな世の中ですが100 歳を目指します。
66　オリンピックが無事に開催できるか。海外から大勢来日することが心配です。
67　夏のマスクが大変だった
68　決まりを守りながら楽しみを見つけていきたい

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

69　感染力の強いウイルス。早く収束を願う。
70　早くワクチンを全国民に・・・安心して生活を送れるよう切に願うばかりです。
71　仕事に行けず不便。
72　感染予防のポイントを押さえたうえでの市民が活動を続けていく方法を明示してほしい
73　いつもマスクをして出かけ、気にしないで楽しい事が早く出来る様になる事を祈ります
74　早くワクチンが広く使われて安心して、出歩ける様にと思っています。
75　感染しているかどうかわからず不安です。出かけた日の 10 日後は何日かとかいつも気にしています
76　自由に外に出られないこと、持病があるので感染するのが怖いこと
77　子供達、そして現役世代の方々達がかわいそうです。
78　小国の日本でほどほどの暮らしをしたい。インバウンドばかりに目を向けて、お金イコール幸福と思ってきたことが実は幻で、人混みのなくなった京都や鎌倉がなんかホッとさせる光景でした。
79　社会がすさんでくる。
80　コロナの終えん
81　マスクのない生活がしたい。
82　外出が少なくなり体力が落ちた
83　後の時代まで、世界や日本が、健康で平和な世が続くように祈ります。
84　思いたった時に遠方に行けない。
85　・神奈川県は全国 2 位と感染者が多く、減少していない。
・神奈川県がコロナ対策をなにも行っていないように思われる。
86　生活が一変することに大きな不安を感じる。
87　早い終息を願います（個人の努力）を切に祈ります。
88　WITH コロナで感染しないように消毒、マスク、密にならないように気を付けなければいけない
89　日本は 5 年後、10 年後おくれた国になってくる、という不安があります。コロナに早く勝った国が将来、発展する国だと思います。
90　マスクは密の時に使用すれば良いはずなのに、四六時中マスクを着用しているのは変だと思う。アルコールでチョッピリ手をなでただけで菌はすぐに死ぬとは限らない。十二分に消毒したほうが良いと思うけど。
91　生活が制限され不自由になった。
92　外出自粛で足腰と、ひとり暮らしで会話が少なく声帯が衰えてきていることを痛切に感じています。
93　コロナにならない様、日常生活を送っています
94　免疫力が大事と感じる
95　これまでの生活リズムがくずれ心身、特に足腰の衰え

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

96　思うように子供・孫たちと会えないこと
97　行政の行動をスピードアップ！
98　私達の年代では戦後平和な日本が続いていましたが、世界中でのコロナウイルスとの戦いが始まって色々な面で何となく不安を感じるこの頃です。
99　人と自由に接触できないのがもどかしい。又、治安が悪くなるのが怖い。
100　ずっとインドア派だったので、正直ほとんど生活は変わらない。なので、楽に生活できている。私が楽に生きられる、こんな時代が来るのは不思議です。
101　自分を律する事の難しさ。
102　とくになし
103　体を動かし、地域外活動し、コロナを気にせず普段どおりの生活に戻れることがストレスの解消になる
104　早く此のコロナ禍が終始して安心して外出できるようになる事を祈っています
105　海外旅行が好きで毎年行っていましたが、もう歳ですので行けないと思うと寂しい。
106　特になし
107　世の中予見不可能と思えることが起きる。想定外か？
108　普段の暮らしの大切さ、人としての品格、物事をじっくり考える
109　感染源がはっきりしないし、予防薬もない現状で、毎日毎日おびえながらの生活にまいってしまう。
110　政府に意見を言うわけにはいかないので不満のはけ口がない、マスコミも一方的なことしか言わない
111　5 人以上で会食ができないことが残念です
112　乗り物で買い物に出なくなり、足が弱り、身の回りに注意がいかなくなり、すべてがだらしなくなりました。いやですね
113　かつてデング熱、SARS 等の経験から自衛の方法を意識している
114　友達や家族との交流が減ったこと、この点が一番残念です。電車に乗ることもやや不安です。
115　人との直接的な会話が非常に大切だと思われます。
116　法事があるがみんなと楽しく食事が出来ない
夏の熱い時にマスクでシッシンが出来る
117　自宅外でのマスク着用の人が多すぎる、と感じていて、自分は、人混み以外(場所を選び)、マスクを外すようにしている。
118　人と会って話したり、食事をしなくなり寂しくなりました。
119　早くワクチンができますように。
120　インフルエンザとの関連　中国のコロナ禍の現状。
中国はコロナ禍にどう対処して来たのか。それは何故か。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

121　3密に対しても人さまざまで、守ることのむずかしさ（死が目のまえでも）（命を守る意識がたりない。）店（食堂）でも対策がさまざまで？

122　遠方に住む子供たちが訪ねて来てくれなくなったのが淋しい

123　早く終結してほしい

124　友人、知人、親戚と会えないことで関係が疎遠になってしまうこと

125　コロナに関しても、一人ひとり不安感が違い、対応が難しいです。

126　家の中での生活はがまん出来るが、外国生活の娘や孫にいつまで会えないのか不安です

127　今まで何げなく参加していた行事が、ほとんど無くなり淋しい気がします。

128　運動不足。散歩も怖い。

129　行政のすることが後手にまわっている。本当に困っている人たちへの救いの手にスピードが必要。たとえば、マスクの配布等。「くばればよいだろう」的態度で粗末で使用に耐えない代物を配っているが、税金のムダ使いだと思う。本当に必要とする所に上質なものを配布すべきだと思う。（EX.施設に対して etc.）

130　足（ひざ）を手術しようと思ってもコロナの検査とかいろいろあるので苦痛になっております。

131　感染症だから仕方がない

132　ウィズコロナ、経済再生＋健康　我々老人にとって特に健康が重要
デイサービス等のお世話にならない為にも「なごやかセンター」での体操に参加していますが、コロナ前の月２回が丁度良かった。早く月１回から月２回に戻って欲しい
※センターでは消毒・検温・マスク着用を皆が守っているのでよろしく

133　〇〇クーポンとか地域によって異なる、おかしい。

134　人の動き

135　いつまで続くか

136　マスクを正しく使っているのは、小学生と中学生。マナーを守ってないのは年寄りです。先ず、年寄りがルールを守らないと世の中嫌な方向に向いていきます。もう向いている気がします。

137　本当に大変な事が起きましたが、日本人の生活態度に期待しています。

138　リモートでのコミュニケーションでは、人間関係がおかしくなる。礼儀や感情の表現に問題が生じると思う。

139　友達との交有（交友・交遊）時間が少なく淋しい。

140　常に感染しないか気がかりです

141　人と直接会えず、リモートがもてはやされたが、機械が苦手な者は舞台を見ることも電子チケットを買うこともままならず、年寄は捨てられている感じがした。

142　TV のガイヤの夜明け、情報大陸で湘南鎌倉（総合病院）がでました。コロナ受入棟のこと。また、先日は感染症の係りの医師の講話を聴きとてもよかったです。

143　マスクをする人としない人がいるが鎌倉市として指導して下さい。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

144　人生の終盤に入り、楽しい毎日を過ごしたいと思っていたのに、こんな世の中になってしまい悲しいです。
145　何とかワクチンが早く出来るよう
146　町に出るとみなマスクをつけている。十分な注意が必要なんだと感じる。
（マスクをしていない方が不安に思う）
147　持病もあるのでコロナには絶対に感染したくない
148　自分の身体は自分で守る”ことを強く感じました。
149　長男夫婦は仕事、孫たち(3 人)は学校に行っています。同居しているのでとても感染が心配です。GOTO を進めるのもよいですが複雑な気持ちです。
150　これほど長く続くとは思っていなかった。
151　何時迄続くのか心配です。
152　社会の中で何が大切か、が見えてきたような気がします
153　外出できない。マスク無しでお話できない。
154　今はコロナで大さわぎ・・・でも数年後にはインフルと同じ扱いになるのでは。今後の対応が興味深い
155　自然が人間におよぼす力にはかないません。
156　早め早めで予防出来なかったか。
157　早くマスクをとりたい。
158　コロナは本人に症状が出ない内に他の人にうつすこわさがある。もしコロナに罹ったら高齢者なので心配が有る。家族は濃厚接触者を避けられない。
159　すべての生活様式が変わったと感じました。勤務形態、買い物（欲しいものがなくなりました)、外出が減りました。
160　うつらない、人にうつさない。いろいろな面での危機管理の弱さ。
161　外出・交流を控えた事により、身体面のみならず、精神面の低下（やる気の低下）を以前よりも感じる。
162　コロナが去った後の生活様式がどのように変わるか！
163　自然の力が人間におよぼす事の重大さ
164　将来の生活に希望を持てなくなった。
165　新薬の生産
166　早く薬が出来てほしい。
167　いつ収束するか不安を大いに感じます。ウィズコロナで新しい生き方を考えていかねばならぬのか、と感じます
168　早く終息して以前の生活に戻ってほしい
169　早く終息してほしい　年齢的にも心配しています
170　社会（我々の生活）凝縮され、改めて社会全体を再認識させられた。
171　早くワクチンができるといいです。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

172　デジタル化、オンライン診療等を進めてもらいたい
173　一般的に女性は強いです
174　人との会話、他人は気を付けて顔をそむける
175　死を身近に感じるようになりました。
176　人との心がはなれてゆく心配
177　感染者が「大まか」に発表されても、自分の周辺に発生しているのか？全く（！）情報がつかめず、どこまで予防策を実施していけばよいのか。長期間に渡っている現在、いい加減にあきたし、疲れた！
178　あまり考えない
179　自由に外出や親しい友達に会えないこと
180　聖書研究をしています。今は終わりの日という区分の時代です。そのしるしの大きな３ツに地震、疫病、食糧不足があげられています。これほど全世界の人々のくらしに不自由な影響を及ぼすとは予想を上回るものです。経済的に難しくなっている人々がお気の毒です。聖書は明るい将来をしらせています。是非みんなが知る事をのぞんでいます。
181　コロナ禍情報が新聞・TV（？）真最中、地元のコロナ情報を知りたいと思って鎌倉市に問うたが、鎌倉市内の情報は全く周知していない。鎌倉保健福祉所も全くわからないと言う。私はガン手術前でしたのでより安全な病院探しをしたが、残念ながら空振り。間違って病院で感染して、さらに家庭に持ちこんだら一体どうなるのか。
182　ワクチンの早期開発
183　３密をさけるためと言って人との関係が日々、遠のいていっています。人間一人では生きられません
184　鎌倉市民として、この事で、観光客が減ったことは、大変、うれしいことです。以前の様に沢山の観光客が来ないことを望みます。
185　早く自由な生活にもどってほしい。
186　海外とくらべてまだまだ日本はましだと思っている
187　人々との交流
188　子ども達も休むことのできない仕事を抱えていますし、孫たちも学校、保育園等あり。皆がうつらないで元気に過ごしてほしい
189　横浜や東京に行きたくても感染が恐ろしくて行けない。友人とも会えない。
190　一日も早くおさまるように願います
191　このコロナ禍、何時まで続くやら、残り少ない人生で損をしている気がする
192　子供、孫の時代はどうなっていくのか
193　感染症に対しての感じ方は、人それぞれで周りの人に迷惑をかけない様、各自が気を付けて暮らすことが大切だと思いました。
194　色々不便
195　早く収まって欲しい。命の大切さ。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

196　いつになったら収束されるのか。元の生活に戻れるのかを毎日思い不安な気持ちです。
197　基本は自衛だと思っています。
198　マスク着用について、子供達は慣れるのが早い。いつでも着けていられる。息苦しさはないのか。
199　歩くことが不自由なので近所に電動車いすで外出しているので、特に感じない。
200　自己管理の徹底
201　趣味の活動を少しずつ増やし、生活を楽しみたいと思ってきた。このまま家にいると体力・気力もなくなりそうです。コロナにかかって入院後無事退院できるのか運命だとひらきなおっている心境です。
202　人生の中で思わぬ事に出会う事があります。受け止めて生活しなくてはならないと思う日頃です。
203　一人住まいの為、籠った生活は本当に息苦しくなり自由に出歩きたい。
204　自分自身をみつめることが大切
205　いつごろ収まるのか気になる
206　コンサートに行きたい
207　自分がコロナに感染したら、回りに迷惑をかけるので、早くコロナが終ってほしい
208　外出できず「うつ」になりそう
209　国の対策があまい。県からの情報が少ない。
210　教育面でも社会的な活動でも、コロナ禍を契機にますます online 化が進むことが予測され、人間的な「顔と顔、心と心の交流」のありようが大きく変わるだろうことへの不安を感じています。
211　大統領も感染される程、目に見えない処にコロナウイルスがいると思うと私の様に気管支や肺の弱いものには怖くてなるべく出ないようにしていますが、ストレスはたまり淋しい限りです。
212　常識が変化している。マスクやシールド
213　公共の交通機関を使わないようにしているので不自由です。子供達、友人と会えないので頭も体も弱ってきている様に思われて不安です
214　見えないウイルスの恐ろしさを実感慎重に行動せねばと気を付けるようになりました。
215　コロナ前のデイサービスは皆でゲームをしたりお話をしたりとても楽しかったのですが、コロナの為、人との距離が遠くなってお話も出来なくなって雰囲気がすっかり変わってしまって残念です。
216　家族がコロナ感染にかかること一番心配しています
217　家族で話し合う時が少なくなった。若い人と住んでいるから。
218　マスクを必ずかけるつもりですが夏は暑くて困りました。
219　心身共に健康であることの幸せ。衛生面の大切さ。
220　孫たちと逢えないのが少しさみしいです

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

221　夜の接待等に出かけてコロナにかかった人の治療費は国で負担の必要はない。
222　体重の増加、運動不足
223　外出が出来ないことが起こるとは思わなかった。
224　対応の指示に誠実に従い、早い終息を願う。
225　ただの風邪を大げさに騒ぎすぎたために、後片付けが大変である。
226　ＰＣＲ検査をもっと簡単に受けさせて欲しい（自分がまさかと思う時にどうして良いか分からない）
227　うがい、手洗い、マスクの着用等の効用の大きさと同時にその必要性を痛感。
228　家に人が入ると心配です　お茶をする（場所がない）
229　子供や孫に自由に会えない！　実家（地方）に頻繁に行けない！
230　人ごみの中へは出来るだけ控える。
231　終息を願うのみ
232　早く元に戻りたい
233　人とのつながりがうすくなった。　いやな世の中になりました。
234　人類の驕りに警鐘を鳴らしたのではないかと思います。われわれはこれから難しい時代になるのではないでしょうか。
235　早くワクチンが出来るといいですね
236　after では価値観が代わり今まで自分が大事にしていたこと、物が代わり、社会も変わると思います。
237　人とのかかわり
238　世界は狭いとか世界を感じることです。
239　少しさわぎ過ぎを感じます。暑い中マスクをしないでいるとジロジロきたないものを見る態度はいじめと同じじゃないか？もっと科学的にコロナを見直した方が良いのでは・・・世の中の人達、もっともっと大人にならなくて！！
240　子や孫たちに積極的に会う機会が少なくなった。
241　食生活の不自由さを感じています。只今、宅配食宅配便を利用していますが自分の目で見て楽しい食事、買物をしたいと思っています。行動範囲が少なく老いが心配です。
242　未曾有の体験で人との関わりや外出の不自由、感染の不安等かなり疲れがたまっております。
243　私たちができる事は感染を広げない事です。医療関係者の方に感謝を申し上げたいです。
244　「新しい生活様式」に対するそれぞれの考え方が違うので、会食したがる人や話したがる人との接し方が難しい。高齢者を外に目を向けてもらう為のサロン活動や近所の団らん等が一番感染リスクが高い行動で、老化の急に進んだ人もあり、各自がしっかり健康管理をしないといけないと思った。
245　GO TO ～興味は大いにあるが　コロナウイルスに感染した場合、高齢者の重症化率、死亡率を考えると積極的になれない

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

246　戦争を体験し、この年まで生きていると動じ無くなる。世の中の流れに応じていくしかない。
247　自分達はマスクをしたり、密にならない様に気を付けていますが、若い人（観光客等）が人ごみでもマスクをしていないような時があり気になります。
248　初めてのコロナ、もうたくさんです。
249　各自のモラルのなさ
250　行動の制限で人との接触が減り、病状が進んだ人が増えたのが気になる
251　自由に会えないことがつらいことです。
252　集まりも外出も自由にできず、気分も晴れません。
253　もっと免疫のことを理解し、広める事が、これからの感染症に必要だと思う。ナゼ、同じ条件でも、感染する人としない人がいるのか、もっとしっかり伝えるべきだと思う。腸が免疫力の 70%～80%を関係している。歴史の中から学び、正しい治療を伝えたい。暮らし易い社会を作っていきたいです。
254　仕事中感染しないか心配しています。
255　生活習慣を変えることが大切と感じます。
256　行動が制限されているので大変に不自由です。
257　コロナにかからない事。人にうつさない、もらわない事。健康管理が一番ではないでしょうか。
258　感染の心配なく自由に活動できる生活が当たり前と思っていましたが有りがたいことだと感じるようになりました
259　働き方や生活の仕方が、コロナ前にできていたことが最善だったのか？考えるきっかけになったと思う。きっと現代の医学でコロナ対策は見つかる。それまで自分の免疫力を高めてできる予防策を行っていくことが大切だと考える。
260　自分らしく楽しめる生活スタイルは如何なるものか。
261　コロナ対策に関しては、年齢、家族の環境等で個人差が多くあり、その中で生活していくのが大変だと感じます。
262　問６、７は質問が難しくて答えられない。
263　注意して、こわいよー？
264　国民が協力し早く治まる事を願います。
265　遠く（東京）の娘２人からの電話差し入れがあって助かっていますが、ヨタヨタでも自分でたしかめた買物をしたいが、コロナが去っても歩けないかな、なんて思う。
266　外出自粛でコロナ鬱になった方とか家族リモートでストレスのたまってしまった方や、家族。何かお手伝いできればと思います。
267　友達とのお付き合いがなくなり寂しい思いをしました。
268　人に対する誹謗中傷で人のやさしさ、思いやりがなくなってゆくのがこわいですね。あまりさわぎすぎたのではないですかね。

社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会 all rights reserved.

令和 3(2021)年 1 月
「新型コロナウイルス感染症」シニアのくらしアンケート　報告書
版 1.4
発行：　社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会
　　地域福祉課　生活支援係
　　神奈川県鎌倉市御成町 20-21